

多言語翻訳技術（ボイストラ等）の活用について

総務省 国際戦略局 技術政策課 研究推進室

令和8年6月4日

1. 多言語翻訳技術の概要

2. 多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra（ボイストラ）」の活用

3. 多言語翻訳技術の社会実装（民間翻訳サービスの活用）

【配布資料】

- ・本資料
- ・参考資料 1 VoiceTra紹介チラシ
- ・参考資料 2 NICTの多言語翻訳技術を活用した民間サービス概要
- ・参考資料 3 NICTの多言語翻訳技術を活用した民間サービス詳細
- ・参考資料 4 都道府県等宛通知（地方公共団体における多言語翻訳技術の活用の推進について）
- ・参考資料 5 地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイド

- 総務省・NICTでは、長期間にわたり多言語翻訳技術の基礎研究を実施し、技術・言語データ等を蓄積。
- 訪日・在留対応等を想定した**23言語の逐次翻訳**について、**実用レベルの翻訳精度**(TOEIC900点相当)を実現。
- 更に、2025年の大阪・関西万博も見据え、**AIによる同時通訳を実現するための研究開発**を実施した。

多言語音声翻訳アプリ

VoiceTra®



サーバ内の処理

音声認識

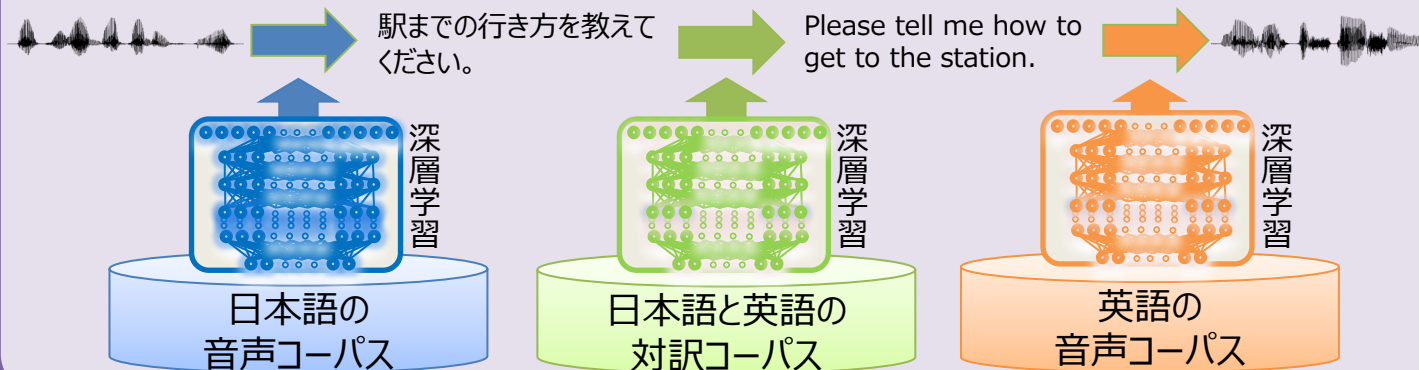
音声を文字に変換

機械翻訳

日本語を英語に翻訳

音声合成

文字を音声に変換



対応言語(33言語)

重点対応言語 (実用レベル)

訪日・在留外国人対応等を想定した**23言語**

日本語	スペイン語
英語	ブラジルポルトガル語
中国語	フィリピン語
韓国語	アラビア語
タイ語	イタリア語
インドネシア語	ドイツ語
ベトナム語	ヒンディ語
ミャンマー語	ロシア語
フランス語	ウクライナ語
クメール語	ネパール語
モンゴル語	タミル語
ベンガル語	

ウルドゥ語 オランダ語 シンハラ語
デンマーク語 トルコ語 ハンガリー語
ポーランド語 ポルトガル語 マレー語 ラオ語

ボイストラ(VoiceTra)アプリ





VoiceTra®

入力した文

翻訳結果

逆翻訳結果
(翻訳結果を
自分の言語
で確認！)



NICTの多言語翻訳技術を 研究用アプリとして公開

- 33言語間の翻訳、24言語の音声入力、24言語の音声出力
- 災害、旅行、医療関係を含む生活会話の翻訳が得意
- iOS、Androidのスマホやタブレットに無料でダウンロードして使用可能

翻訳できる言語（33言語）

ー日本語～ベンガル語を重点研究言語としていますー

🎤 音声で入力できる（24言語対応）

🗣️ 何語かを自動判別もできる（12言語対応）

🔊 音声出力される（24言語対応）

🎤 日本語

🎤 スペイン語

🎤 ウクライナ語

🎤 デンマーク語

🎤 英語

🎤 ミャンマー語

🎤 ドイツ語

🎤 トルコ語

🎤 中国語（簡体字）

🎤 フィリピン語

🎤 ヒンディー語

🎤 ハンガリー語

🎤 中国語（繁体字）

🎤 ブラジルポルトガル語

🎤 ロシア語

🎤 ポーランド語

🎤 韓国語

🎤 クメール語

🎤 タミル語

🎤 ポルトガル語

🎤 タイ語

🎤 ネパール語

🎤 ベンガル語

🎤 マレー語

🎤 フランス語

🎤 モンゴル語

🎤 ウルドゥー語

🎤 ラオ語

🎤 インドネシア語

🎤 アラビア語

🎤 オランダ語

🎤 ベトナム語

🎤 イタリア語

🎤 シンハラ語

※タミル語・ベンガル語は日本語と英語のみに翻訳可能です。

※言語数については、中国語の簡体字と繁体字は1言語として数えています。

※多言語翻訳技術の精度向上を目的として公開している**研究用アプリ**であり、**私用や業務等で試験的にご利用いただけます**が、本格的な業務利用に当たっては、業務に最適なVoiceTra技術を活用した民間サービスのご利用をご検討ください。

p.4右下のQRコードから、
ダウンロードして使用してみましょう！

VoiceTraの使い方

自分が話す



- ①「マイク」ボタンを押す
- ②端末に向かって話す
- ③認識結果が出る
- ④翻訳結果が出る
- ⑤逆翻訳結果が出る

認識あやまりを キーボードで修正



認識がおかしいときは
ペンマークを押すと、
キーボードで修正できます



音声ではなく キーボードで入力



このペンマークを押すと、
「音声」ではなく、
キーボードで入力できます



相手に話してもらう



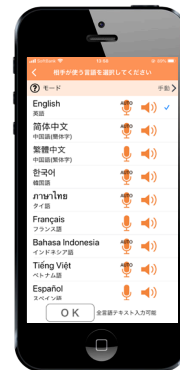
グレーの部分に触ると、
翻訳の「向き」が変わります



相手の言語を変える



「地球マーク」を押すと、
言語選択画面になります



【その他の使い方】

サポートページに詳細を掲載しています。

(<https://voicetra.nict.go.jp/>)

- ・操作方法
- ・マニュアルファイルの入手
- ・対応している言語の一覧
- ・使い方動画の視聴など。



(1)話しかけるとき

- ・マイクと口の距離は、2センチぐらい。
- ・マイクボタンを押したら、すぐに話し始める。
- ・話す文章は短く、途中で詰まったら最初から。

押したらすぐ話す。
文章は簡潔に。



(2)翻訳が上手くいかないとき

- ・翻訳が上手くいかなければ、言い方を変える。
- ・商品や人の名前など、現時点で翻訳できない固有名詞もあります。

例えば、主語を入れてみる。

✕ 「お腹が痛いのですね？」
○ 「あなたはお腹が痛いのですね？」

最初の声掛けを自分からすると、翻訳機だと分かってもらえます。



どうされましたか？



怎么了？



多言語翻訳技術の社会実装

- NICTにおいて翻訳エンジンを開発し、ライセンス契約により民間企業に利用を開放する仕組みを構築。
- 官公庁・自治体※のほか、防災・交通・医療等の幅広い分野において活用。

※多言語翻訳サービスの導入・運用経費を対象とした特別交付税措置等を活用して導入が進展

※地域の多文化共生推進のため、都道府県・政令市等に、翻訳技術の活用推進について通知(2021年4月)



音声翻訳サービスの例

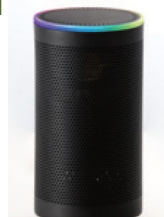
(株)サークル・ワン
「コスモトーク翻訳」



TOPPAN(株)
「VoiceBiz® UCDisplay」



Fairy Devices(株)
「Fairy I/O® Tumbler T-01」



(株)フィート
「STS with Sound Pipette™」



コニカミノルタ(株)
「多言語通訳サービス
KOTOBAL for Medica
医療通訳タブレット」(旧名称:
MELON)



テキスト翻訳サービスの例

(株)川村インターナショナル
「みんなの自動翻訳
@KI (商用版)」



(株)十印
「T-tact AN-ZIN®」



NTTコミュニケーションズ(株)
「COTOHA® Translator」



東芝デジタルソリューションズ(株)
「DOCCAI翻訳」



(株)みらい翻訳
「Mirai Translator®」



音声翻訳サービス

- 「VoiceBiz® UCDisplay」
TOPPAN(株)

- 「Fairy I/O® Tumbler T-01」
Fairy Devices(株)

- 「窓口向け音声翻訳サービス STS with Sound Pipette™」
(株)フィート

- 「多言語通訳サービス KOTOBAL」
コニカミノルタジャパン(株)

- 「業務用無線機型多言語同時通訳機 コスモトーク翻訳」
(株)サークル・ワン

- 「投影用自動同時通訳システム LiveTra」
TOPPAN(株)

- 「多言語通訳サービス KOTOBAL for Medical」
コニカミノルタジャパン(株)

- 「mimi® スタンドアロン型 リアルタイム通訳ノートPC」
Fairy Devices(株)

- 「mimi® 音声翻訳 powered by NICT」
Fairy Devices(株)

- 「MW スタンドアロン 同時通訳」
マインドワード(株)

- 「多言語AI音声合成サービス OTOクリエイタ」
(株)高電社

- 「ドコッーAI MIX」
(株)スマートボックス

- 「VoiceOn シリーズ」
(株)IP DREAM

- 「BRIDGE アプリ」
(株)BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS

- 「VistaFinder Mx」
株式会社KDDIテクノロジー

- 「ドコッーAI MIX Meeting」
(株)スマートボックス

- 「VoiceBiz®」
TOPPAN(株)

- 「VoiceBiz® Remote」
TOPPAN(株)

- 「みらい翻訳 AI 動画字幕」
(株)みらい翻訳


音声翻訳APIサービス

- 「mimi® Cloud API Service」
Fairy Devices(株)


テキスト翻訳サービス

- 「XMAT®」
(株)川村インターナショナル

- 「みんなの自動翻訳 @KI (商用版)」
(株)川村インターナショナル

- 「T-tact AN-ZIN®」
(株)十印

- 「医療特化AI翻訳プラットフォーム AIKO SciLingual」
(株)アスカコーポレーション

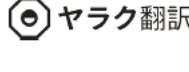
- 「Mirai Translator®」
(株)みらい翻訳

- 「COTOHA® Translator」
NTTドコモビジネス(株)

- 「ATOM KNOWLEDGE」
(株)C M C エクスマニコム

- 「WizLabo AI Translate」
宝印刷(株)

- 「DOCCAI 翻訳」
(株)東芝

- 「ヤラク翻訳」
八条(株)

- 「製薬業界向け翻訳サービス PharmaTra®」
TOPPAN(株)

- 「金融分野向け機械翻訳サービス FinTra®」
TOPPAN(株)

- 「特許文書・医薬向け翻訳サービス ProTranslator Neo™」
日本特許翻訳株式会社

- 「CRYSTALTRANSLATOR® BUSINESS」
マインドワード(株)


<ご利用対象>

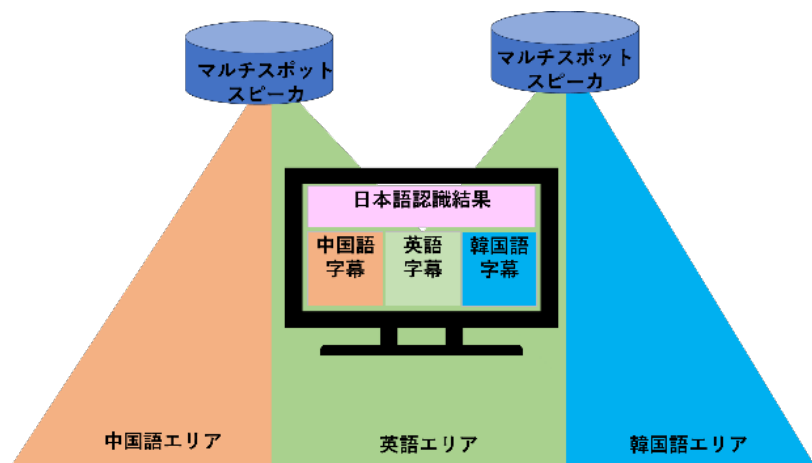
 法人向け  個人向け

<提供形態>

 端末

 アプリ・ソフトウェア

- AIを活用し音声認識した結果を同時通訳者のように文より短い単位（チャンク）に分割・翻訳する**多言語同時通訳**と、特定エリアに特定の音を届けられる**マルチスポット再生技術**を採用した複数のスピーカーを組み合わせることにより、連続した発話を高速・正確に翻訳し画面に表示させるとともに、**それぞれの言語の合成音声を各言語のエリアに同時に届ける**ことを実現。NICTが開発。



4言語同時通訳システムとの連携

○同時通訳デモビデオ

<https://www.youtube.com/watch?v=uyTRd5Hu6hw>

○マルチスポット再生技術 紹介HP

<https://ast-astrec.nict.go.jp/MultipleSoundSpotSynthesis/>

大阪・関西万博における多言語翻訳技術の活用

- 多言語翻訳技術を逐次翻訳のみならず最先端の同時通訳も含めて大阪・関西万博に実装・活用することにより、「言葉の壁」から解放された万博体験を実現する。

(大阪・関西万博への多言語翻訳技術の実装は、万博協賛企業 (TOPPAN、ヤマハ、みらい翻訳) により実施。)

会場全体・全期間

出典：2025年日本国際博覧会協会資料を基に総務省作成

翻訳アプリ (EXPOホンヤク)



EXPOホンヤク
(スマホアプリ)

日本語を含む30言語に対応



iPhoneの方



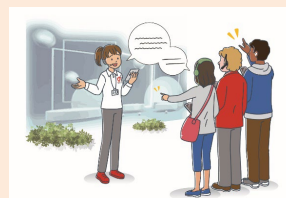
Androidの方



Web版翻訳アプリ (EXPOホンヤクRemote)

ガイドの話す言語をご希望の言語に翻訳して聞き取ることができる。日本語を含む13言語に対応。

(スマートフォンなどから二次元コードでWebアプリにアクセス)



見えるアナウンス

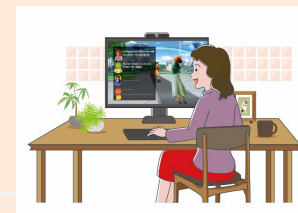
アナウンスをテキストで確認できる。日本語と英語を含む、7言語の翻訳に対応。



オンライン

バーチャル万博翻訳

オンライン空間上に3DCGで再現された夢洲会場のバーチャル会場で、テキストチャットによるコミュニケーションを翻訳。日本語を含む14言語に対応。



会場特定場所・特定期間

同時通訳体験

L02 フューチャーライフエクスペリエンス

5/27(火)-6/2(月)

キャラクターによる通訳を通して最新の自動通訳を体験



講演同時通訳

W01 テーマウィークスタジオ

日本語話者・英語話者の発話を複数言語に翻訳し、スマホ・スクリーンへ表示



- 4/29(火) 未来の文化共創
- 6/21(土) 健康とウェルビーイング
- 8/9(土) 平和と人権
- 9/27(土) 地球の未来と生物多様性
- 10/11(土) SDGs+Beyond
いのち輝く未来社会

※その他、メディアセンター・小規模催事・説明会等へスタンドアロン版通訳機を貸出し

多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービスの活用

- ・国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した**多言語翻訳技術※**を**活用した民間企業の製品・サービスの活用**

※NICTが試験公開している「VoiceTra」（音声翻訳）及び「みんなの自動翻訳@TexTra」（テキスト翻訳）に使用している技術

(出典) https://qcp.nict.go.jp/news/flyer_business_GCP.pdf

音声翻訳サービス

- 「VoiceBiz* UCIDisplay」
TOPPAN(株)
- 「Fairy I/O* Tumbler T-01」
Fairy Devices(株)
- 「窓口向け音声翻訳サービス STS with Sound Pipette」
(株)フイート
- 「多言語通訳サービス KOTOBAL for Medical」
コニカミノルタジャパン(株)
- 「多言語通訳サービス KOTOBAL」
コニカミノルタジャパン(株)
- 「業務用無線機多言語同時通訳機 コスモトーク翻訳」
(株)サークル・ワン
- 「投影用自動同時通訳システム LiveTra」
TOPPAN(株)
- 「mimi* スタンドアロン型リアルタイム通訳ノートPC」
Fairy Devices(株)
- 「MW スタンドアロン同時通訳」
マインドワード(株)
- 「多言語AI音声合成サービス OTOクリエイター」
(株)通電社
- 「ドコソコAI MIX」
(株)IP DREAM
- 「VoiceOn シリーズ」
(株)IP DREAM
- 「VistaFinder Mx」
株式会社KDDIテクノロジーズ
- 「ドコソコAI MIX Meeting」
(株)スマートボックス
- 「VoiceBiz*」
TOPPAN(株)
- 「VoiceBiz* Remote」
TOPPAN(株)
- 「PC同時通訳システム(どこでも翻訳Neo)」
(株)フイート
- 「mimi* 音声翻訳 powered by NICT」
Fairy Devices(株)
- 「BRIDGE アプリ」
(株)BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS
- 「みらい翻訳 A動画字幕」
(株)みらい翻訳

テキスト翻訳サービス

- 「XMAT*」
(株)川村インターナショナル
- 「みんなの自動翻訳 @KI (商用版)」
(株)川村インターナショナル
- 「T-tact AN-ZIN*」
(株)十印
- 「医療特化AI翻訳プラットフォーム AIKO SciLingual」
(株)アスカコーポレーション
- 「COTOHA* Translator」
NTTドコモビジネス(株)
- 「ATOM KNOWLEDGE」
(株)CMCエクスマコム
- 「WizLabo AI Translate」
宝印(株)
- 「DOCCAI 翻訳」
(株)東芝
- 「製薬業界向け翻訳サービス PharmaTra*」
TOPPAN(株)
- 「金融分野向け機械翻訳サービス FinTra*」
TOPPAN(株)
- 「特許文書・医薬向け翻訳サービス ProTranslator Neo」
日本特許翻訳株式会社
- 「CRYSTALTRANSLATOR* BUSINESS」
マインドワード(株)
- 「Mirai Translator*」
(株)みらい翻訳
- 「ヤラク翻訳」
八通(株)

音声翻訳APIサービス

- 「mimi* Cloud API Service」
Fairy Devices(株)

各製品の概要は [こちら](#)

地域における多文化共生の推進に要する経費のうち、多言語翻訳サービスの導入・運用経費（翻訳機器の購入費、リース料、保守料、通信料、相談料、ライセンス料、操作マニュアル作成費、職員向け研修費、その他初期費用等の翻訳機器（タブレット端末）の配備に要する経費等）について、特別交付税措置の対象（市町村分）

『地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイド』の活用

- ・地方公共団体が**多言語翻訳システムを導入する際の共通課題やそれらへの解決策について整理し、円滑な導入に向けた手順や留意点を掲載した地方公共団体向けガイドの活用**

地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイド

令和3年4月
総務省 情報流通行政課 情報流通部課

目次

概要と目的 2ページ

第1章 多言語音声翻訳サービスの概要 3ページ

1-1. 多言語音声翻訳サービスとは 3ページ

1-2. 多言語音声翻訳サービスの特徴と効果 4ページ

第2章 導入に向けた準備と導入・運用までの流れ 6ページ

2-1. 導入にあたってのタスク別 6ページ

2-2. 中心となる関係者と体制 7ページ

第3章 導入するためのポイント 8ページ

3-1. 導入するためのポイント 8ページ

3-2. 関係者に導入の必要性を理解してもらうために（コラム） 14ページ

第4章 運用におけるポイント 16ページ

4-1. 運用時に留意点になりやすいこと 16ページ

4-2. サービスを活用してもらうためのポイント 17ページ

最後に 20ページ

<共通課題と解決策の例>

	共通課題	解決策
導入時	✓ 地方公共団体や学校特有の用語も翻訳してくれるのか？（●●交付金、△△手当、給食、学童 等）	➢ サービスにおける辞書登録機能の有無を確認する。
	✓ 少数言語にも対応できるのか？	➢ サービス毎の対応言語を確認する。
	✓ 翻訳結果を確認することはできるのか？	➢ 逆翻訳機能の有無を確認する。
運用時	✓ 翻訳精度を上げるためにはどうすればよいのか？	➢ はっきりと話す、主語を明確に、など、話し方を工夫する。
	✓ 導入したが利用されない。	➢ 定期的に在留外国人がよく利用するSNS等で周知する。

先進的な取組事例の紹介（多文化共生アドバイザー制度の活用等）

- ・「多文化共生アドバイザー制度」の活用
多言語翻訳サービスを用いた取組等の見識を有する「多文化共生アドバイザー」の活用（必要経費については特別交付税措置の対象）
※アドバイザー名簿は総務省HPに掲載
- ・「多文化共生事例集」を更新・改訂

各地方公共団体におかれては、まずは**多言語翻訳技術を試用**いただき、**その結果や地域の実情を踏まえ同技術に係るサービスの利用を積極的に検討・推進**いただきますようお願いいたします。

- 自治体において翻訳端末やタブレットを活用した多言語翻訳サービスの導入が進んでいる。
- **TOPPAN**：市役所での住民登録や健康保険などの手続き、各種生活相談でVoiceBizを導入。教育現場では外国児童の生活指導や保護者との進路相談などに活用。（神奈川県綾瀬市）
- **KONICA MINOLTA**：庁外の場所や外国人の方のお宅へ訪問する際にも活用。また、多言語翻訳のほかに日本語での文字起こしで耳の不自由な方とのコミュニケーション・ツールとして活用。（栃木県宇都宮市）

【TOPPAN】 VoiceBiz®



神奈川県綾瀬市役所での活用の様子

【KONICA MINOLTA】 コトバル KOTOBAL



宇都宮市役所での活用の様子

- 総務省においては、令和3年度に、地方公共団体が多言語音声翻訳サービスを導入する際の共通課題等について整理し、各課題において求められる取組をガイドとして取りまとめ。
- 本ガイドを通じて地方公共団体における多言語音声翻訳サービスの導入を後押しし、行政手続等における外国人住民の利便性向上や、地方公共団体職員の多言語対応にかかる負担軽減を図る。

地方公共団体における 「多言語音声翻訳サービス」の 導入ガイド



開始

導入・運用に向けた体制作り

タスク	ポイント、取り組み内容	詳細
推進メンバーの決定	導入を推進する担当者の決定	▶第2章 7ページ(上段)
関係者との連携	翻訳サービスに関わる調整が必要な部門と連携	▶第2章 7ページ(下段)

調査

実態把握と翻訳サービスの検討

実態調査	地域の外国人住民の現状と現場の課題を把握	▶第3章 9～12ページ
翻訳サービスの検討	対応言語や業務に見合ったサービスを選択	▶第3章 13ページ

提案

予算の確保に向けた関係者との調整

予算の要求	調査結果をもとに財務部門をはじめとする関係者へ説明して予算を確保	▶第3章 14～15ページ
-------	----------------------------------	------------------

運用

サービスが利用されるための運用検討

運用ルールの検討	翻訳サービスを活用してもらうためのルール作りや庁内外への周知	▶第4章 16～19ページ
----------	--------------------------------	------------------

(参考) 参考資料URL



参考資料 1 VoiceTra紹介チラシ
https://voicetra.nict.go.jp/dl/voicetra_flyer_A4_ja.pdf



参考資料 2 NICTの多言語翻訳技術を活用した民間サービス概要
https://gcp.nict.go.jp/news/flyer_business_GCP.pdf

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声翻訳サービス	
音声翻訳サービス VoiceBiz UCDisplay 【サービス名】VoiceBiz UCDisplay 【提供会社】TOPPAN(株) 【サービス開始時期】2023年10月〜 【利用対象】法人・【提供形態】端末 【概要】発した言葉を選択した言語に翻訳し、液晶ディスプレイ上にテキスト表示するユニバーサルコミュニケーションサービス。聴覚障害や言語が異なる方にも利用でき、タブレットのキーボード入力でもテキスト入力可能。 ・利用言語：13言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、カンボジア、ポルトガル、ブラジルポルトガル、日本語） ・音声認識：33言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、カンボジア、ポルトガル、ブラジルポルトガル、日本語） ・想定シーン：訪日外国人対応、自治体施設でのユニバーサルコミュニケーション対応など ・価格：有料 【問合せ先】E-mail: ucdisplay@toppan.co.jp	音声翻訳サービス Fairy I/O* Tumbler T-01 【サービス名】Fairy I/O* Tumbler T-01 【提供会社】Fairy Devices (株) 【サービス開始時期】2018年6月〜 【利用対象】法人(教育機関、研究機関) 【概要】多言語音声対話、翻訳システムに最適で、企業向けホワイトレーベル製品です。Tumbler型であり、デスクトップで利用、モバイル型あり。 ・利用言語：オランダ語、英語、韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、韓国語、日本語 ・想定シーン：観光案内所、交通機関、自治体、医療機関などの窓口 ・価格：有料 【問合せ先】https://fairydevices.jp/contact
音声翻訳サービス KOTOBAL for Medical 【サービス名】KOTOBAL for Medical 【提供会社】KONICA MINOLTA 【サービス開始時期】2019年10月〜 【利用対象】法人・【提供形態】アプリ・ブラウザ (聴覚・聴覚) 聴覚 【概要】医療現場に活用される多言語翻訳サービス。医療現場に活用される多言語翻訳サービス。医療現場に活用される多言語翻訳サービス。 ・利用言語：オランダ語、英語、韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、韓国語、日本語 ・想定シーン：医療現場での対応全般 ・価格：有料 【問合せ先】https://kotobal.konicaminolta.jp/k-rtai-translation	音声翻訳サービス KOTOBAL 【サービス名】KOTOBAL 【提供会社】KONICA MINOLTA 【サービス開始時期】2019年10月〜 【利用対象】法人・【提供形態】アプリ・ブラウザ (聴覚・聴覚) 聴覚 【概要】多言語音声対話、翻訳システムに最適で、企業向けホワイトレーベル製品です。Tumbler型であり、デスクトップで利用、モバイル型あり。 ・利用言語：オランダ語、英語、韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、韓国語、日本語 ・想定シーン：観光案内所、交通機関、自治体、医療機関などの窓口 ・価格：有料 【問合せ先】https://kotobal.konicaminolta.jp/

参考資料 3 NICTの多言語翻訳技術を活用した民間サービス詳細
https://gcp.nict.go.jp/news/products_and_services_GCP.pdf

総行 国第 63 号
総 国 研 第 44 号
総 信 第 39 号
令和3年4月 23 日

各都道府県・指定都市多文化共生推進部局長 殿
各地域国際化協会事務局長 殿

総務省自治行政政局国際室長
総務省国際戦略局技術政策課推進室長
総務省情報流通行政局情報流通振興課長
(公 印 省 略)

地方公共団体における多言語翻訳技術の活用推進について

日頃から、地域における多文化共生の取組の推進に当たり、御理解、御協力を賜り、感謝申し上げます。

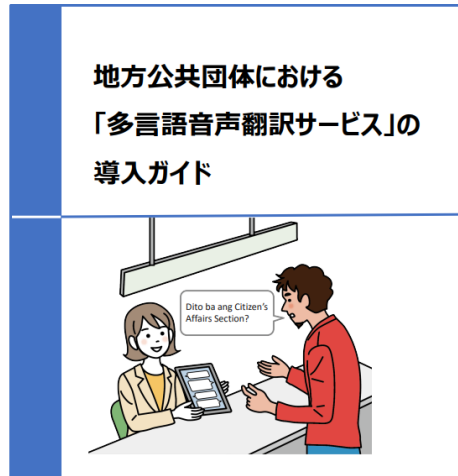
総務省では、外国住民の増加・多国籍化、デジタル化の進展等、多文化共生施策を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえて、令和2年度に「地域における多文化共生推進プラン」を改訂し、「地域における多文化共生推進プランの改訂について」(令和2年9月10日付総行国第100号)において周知しました。改訂後の「地域における多文化共生推進プラン」において、地域における多文化共生を推進するための具体的な施策として、多言語翻訳アプリ等の多言語翻訳サービスの活用も含めた必要な多言語対応の体制整備の重要性について言及しています。

多言語翻訳技術については、世界の「音の壁」の解消を目的として、「グローバルコミュニケーション計画2025」(令和2年3月総務省)に基づき、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が率先して技術の研究開発と社会実装に取り組んでいます。これまでの取組により、NICTの多言語翻訳技術は、翻訳精度の向上や対応言語の拡大を実現し、多様な多言語サービスが実用化・普及し、行政手続・医療・交通・観光等の様々な分野で活用されています。

こうした状況を踏まえ、多言語翻訳技術の活用に関する総務省の取組を下記のとおりまとめましたので、各地方公共団体においては、地域の実情を踏まえて、多言語翻訳アプリ等の積極的な導入の具体的な取組を行い、多言語翻訳技術の活用について検討・推進いただますようお願いいたします。

また、貴都道府県内の市区町村に対しても、本通知の内容について周知いただきますようお願いいたします。

参考資料 4 都道府県等宛通知（地方公共団体における多言語翻訳技術の活用の推進について）
https://www.soumu.go.jp/main_content/content/001031354.pdf



参考資料 5 地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイド
https://www.soumu.go.jp/main_content/001031356.pdf

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先 : gcp.mic@ml.soumu.go.jp

【以下：参考資料】



多言語音声翻訳アプリ

< ボイストラ >

無料アプリ

VoiceTra®

話した内容を外国語に翻訳 33言語に対応！

他のサイズは
ありますか。

ショッピングで

次の列車は
何時ですか。

駅で

穴子ください。

寿司屋で

旅行会話に
最適！

チェックインは
何時ですか。

ホテルで

少し熱があります。

病院で



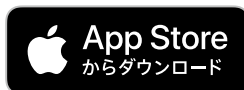
ボイストラ

VoiceTra は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の
“音声認識・翻訳・音声合成” 技術を活用した 多言語音声翻訳アプリです。

アプリのダウンロードはこちらから

右の QR コードか、下の VoiceTra サポートページの
バナーリンクからアクセスしてください。

※アプリのインストール間違いにご注意ください。



VoiceTraサポートページ

<https://voicetra.nict.go.jp/>



Facebookページ @VoiceTra.Support

<https://www.facebook.com/VoiceTra.Support/>

- VoiceTra は無料でダウンロード・ご利用いただけますが、個人の旅行者の試用を想定して作られた NICT の研究用アプリであり、研究目的のサーバを使用しています。
- NICT の多言語翻訳技術を活用した製品・サービスが拡大中です。業務用に最適な民間企業の製品・サービスのご利用もご検討ください。
民間企業の製品・サービス事例のご紹介 → グローバルコミュニケーション開発推進協議会サイト <https://gcp.nict.go.jp/>

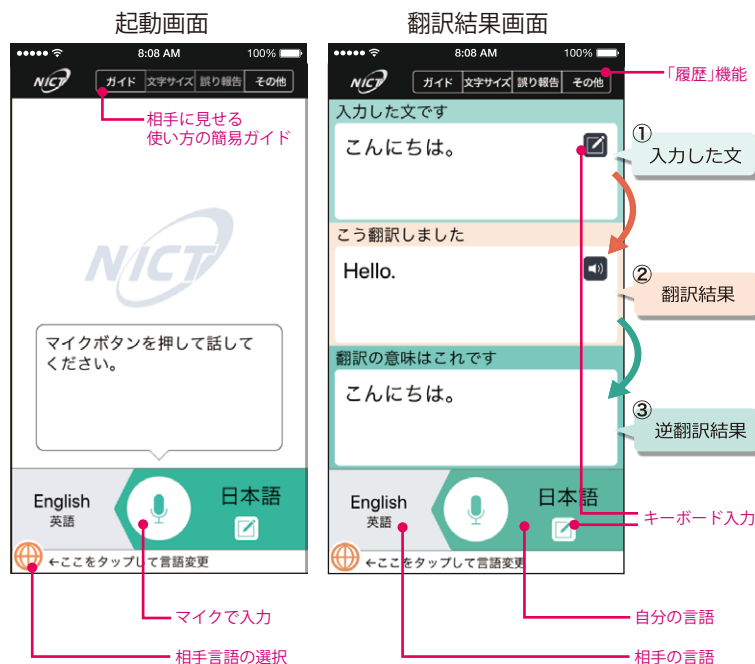


ボイストラ

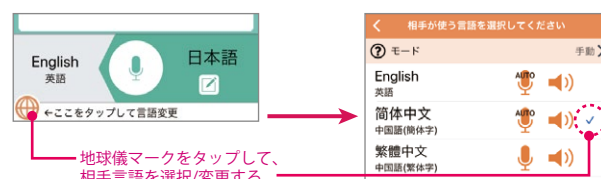
多言語音声翻訳アプリ VoiceTra は、話しかけたことを翻訳します。 ダウンロード・ご利用は、すべて無料* です。

* 本アプリケーションのご利用にはインターネット接続によるデータ通信を必要とします。その際の通信料はご利用者様負担となります。海外でローミング中にご使用の場合、通信料が高額になる場合があります。ご注意ください。

画面の説明

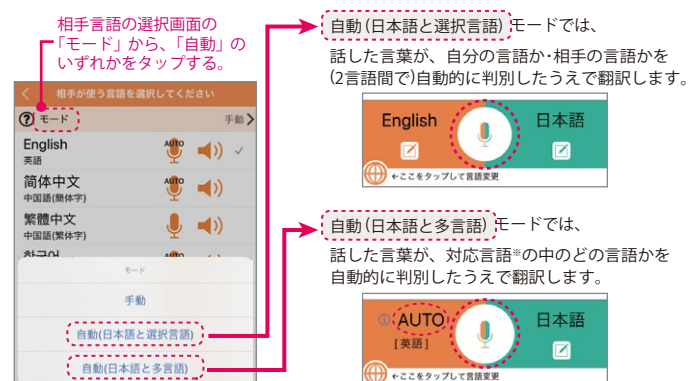


相手言語の選択



一部の言語*で言語の自動判別機能が試せます！

*対応言語は“翻訳できる言語”一覧をご参照ください（AUTO付きマークの言語が対応可）



翻訳できる言語（33言語）

ー日本語～ベンガル語を重点研究言語としていますー

🔊 音声で入力できる（24言語対応）

🔊 何語かを自動判別もできる（12言語対応）

🔊 音声が出力される（24言語対応）

🔊 日本語

🔊 英語

🔊 中国語（簡体字）

🔊 中国語（繁体字）

🔊 韓国語

🔊 タイ語

🔊 フランス語

🔊 インドネシア語

🔊 ベトナム語

🔊 スペイン語

🔊 ミャンマー語

🔊 フィリピン語

🔊 ブラジルポルトガル語

🔊 クメール語

🔊 ネパール語

🔊 モンゴル語

🔊 アラビア語

🔊 イタリア語

🔊 ウクライナ語

🔊 ドイツ語

🔊 ヒンディー語

🔊 ロシア語

🔊 タミル語

🔊 ベンガル語

ウルドゥー語

オランダ語

シンハラ語

デンマーク語

トルコ語

ハンガリー語

🔊 ポーランド語

ポルトガル語

マレー語

ラーオ語

※タミル語・ベンガル語は日本語と英語のみに翻訳可能です。

※言語数については、中国語の簡体字と繁体字は1言語として数えています。

お問い合わせ先

・多言語音声翻訳技術のライセンスについて

ASTREC 技術移転担当：ict@khn.nict.go.jp

VoiceTraで使用している多言語音声翻訳技術の商用利用についてのご相談等は、こちらまで連絡ください。

・アプリの使い方について

VoiceTraサポートチーム：

voicetra-support@khn.nict.go.jp

・開発元

〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台 3-5

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

先進的音声翻訳研究開発推進センター（ASTREC）

・VoiceTraサポートページ

<https://voicetra.nict.go.jp/>



・VoiceTra は多言語音声翻訳技術の性能評価等の実証実験のために公開されています。そのため、VoiceTra の提供期間は保証されず、予告無く提供が終了する場合があります。

・VoiceTra に入力された音声や翻訳結果などのデータは、多言語音声翻訳技術の改良の目的のために利用します。

・VoiceTra は NICT の登録商標です。このパンフレットに記載するその他の会社名、商品名、ブランド名、ロゴマークなどは、各社の商号、登録商標、または商標です。

・このパンフレットの内容は変わることがあります。最新情報は VoiceTra サポートページをご覧ください。

様々なシーンでの「多言語対応」に NICTの多言語翻訳技術が広がっています。

情報通信研究機構 (NICT) の技術を活用した

※各製品・サービスの最新情報・詳細は、提供元の各社にお問い合わせください。

製品・サービスのご紹介

<ご利用対象>



法人向け



個人向け

<提供形態>



端末



アプリ・ソフトウェア

音声翻訳サービス

- 「VoiceBiz® UCDisplay」
TOPPAN(株)
- 「Fairy I/O® Tumbler T-01」
Fairy Devices(株)
- 「窓口向け音声翻訳サービス STS with Sound Pipette™」
(株)フィート
- 「多言語通訳サービス KOTOBAL for Medical」
コニカミノルタジャパン(株)
- 「業務用無線機型多言語同時翻訳機 コスモトーク翻訳」
(株)サークル・ワン
- 「投影用自動同時通訳システム LiveTra」
TOPPAN(株)
- 「mimi®スタンドアロン型 リアルタイム通訳ノートPC」
Fairy Devices(株)
- 「MW スタンドアロン 同時通訳」
マインドワード(株)
- 「多言語AI音声合成サービス OTOクリエイタ」
(株)高電社
- 「ドコツーAI MIX」
(株)スマートボックス
- 「VoiceOn シリーズ」
(株)IP DREAM
- 「VistaFinder Mx」
株式会社KDDIテクノロジー
- 「ドコツーAI MIX Meeting」
(株)スマートボックス
- 「VoiceBiz® Remote」
TOPPAN(株)
- 「PC同時通訳システム (どこでも翻訳®Neo)」
(株)フィート
- 「mimi® 音声翻訳 powered by NICT」
Fairy Devices(株)
- 「BRIDGE アプリ」
(株)BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS
- 「みらい翻訳 AI動画字幕」
(株)みらい翻訳

テキスト翻訳サービス

- 「XMAT®」
(株)川村インターナショナル
- 「みんなの自動翻訳 @KI (商用版)」
(株)川村インターナショナル
- 「T-tact AN-ZIN®」
(株)十印
- 「医薬特化AI翻訳プラットフォーム AIKO SciLingual」
(株)アスカコーポレーション
- 「COTOHA® Translator」
NTT ドコモビジネス(株)
- 「ATOM KNOWLEDGE」
(株)CMC エクスマニコム
- 「WizLabo AI Translate」
宝印刷(株)
- 「DOCCAI 翻訳」
(株)東芝
- 「製薬業界向け翻訳サービス PharmaTra®」
TOPPAN(株)
- 「金融分野向け機械翻訳サービス FinTra®」
TOPPAN(株)
- 「特許文書・医薬向け翻訳サービス ProTranslator Neo™」
日本特許翻訳株式会社
- 「CRYSTALTRANSLATOR® BUSINESS」
マインドワード(株)

音声翻訳APIサービス

- 「mimi® Cloud API Service」
Fairy Devices(株)

- 「Mirai Translator®」
(株)みらい翻訳
- 「ヤラク翻訳」
八条(株)

各製品の概要は
こちら



「言葉の壁のない世界」の実現へ

NICTの多言語翻訳技術の特徴

日本語を中心に 高精度

日本国内での研究開発及び国産エンジンの使用により、特に、日本語の音声認識、日本語 ⇄ 外国語の翻訳が高精度です。

全国の駅名・主要観光名所などの固有名詞や、日本独特の観光・文化の表現も登録しているので、様々な接客の場で外国語での案内をスムーズに行えます。

確かな 研究開発実績

30年以上の研究開発実績に加え、最新の研究成果の導入により、NICTの多言語翻訳技術は日々進化し続けています。

研究成果は主要国際会議で高い評価を受け、多数の特許を取得しています。

活用シーン 拡大中

総務省の「グローバルコミュニケーション計画 2025」のもと、オールジャパン体制で研究開発に取り組んできたことにより、旅行会話に加え、病院・警察・消防救急・自治体等でのコミュニケーションも含め、日常生活の様々な場面に対応しています。

専門文書も 高精度に翻訳

テキスト翻訳では、特許翻訳に加え、医薬・自動車法規・金融業界向けの翻訳でも高精度を実現。各組織に埋もれている翻訳データを集積する「翻訳バンク※」を運用し、多分野の大量のデータを活用しています。（※翻訳バンクのご案内 ➡ <https://h-bank.nict.go.jp/>）
対応分野は拡大中！ 文書の翻訳にかかる時間を大幅に短縮します。

NICTの多言語翻訳技術の性能をぜひお試しください



多言語音声翻訳アプリ

<ボイストラ>

VoiceTra®

33言語間の翻訳が可能！

シリーズ累計 **1700万**以上のダウンロード実績！

🌐 <https://voicetra.nict.go.jp/>



音声翻訳 に関するお問い合わせ先：

ict@khn.nict.go.jp

（NICTの多言語翻訳技術を用いたアプリ・システムの開発にご興味のある方も、各お問い合わせ先までご連絡ください）

自動翻訳をみんなで育てるサイト

みんなの自動翻訳@TexTra®



🌐 <https://mt-auto-minhon-mlt.ucrjgn-x.jp/>

ニューラル機械翻訳（NMT）、最新の自動翻訳研究に基づく
“**高精度自動翻訳エンジン**”をインターネット上で公開中！

テキスト翻訳 に関するお問い合わせ先：

textra-info@khn.nict.go.jp

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）

VoiceBiz® UCDisplay



【サービス名】「VoiceBiz® UCDisplay」
 【提供会社】 TOPPAN(株)
 【サービス開始時期】 2023年10月～
 【利用対象】 法人 【提供形態】 端末
 【概要】 発話した言葉を選択した言語に翻訳し、透明ディスプレイ上にテキスト表示するユニバーサルコミュニケーションサービス。難聴者や発話が難しい方にも利用できるよう、タブレットのキーボード入力でもテキスト入力も可能。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：無し ・辞書登録：有り
 ・対応言語：13言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル）※日本語×日本語のコミュニケーションにも利用可能
 ・想定シーン：訪日外国人対応、自治体窓口でのユニバーサルコミュニケーション対応など
 ・価格：有料
 【問合せ先】 E-mail: ucdisplay@toppan.co.jp

【サービス名】「Fairy I/O® Tumbler T-01」



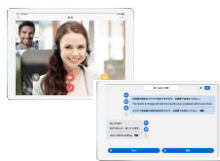
【提供会社】 Fairy Devices (株)
 【サービス開始時期】 2018年6月～
 【利用対象】 法人(教育機関、研究機関)
 【提供形態】 端末+ソフトウェア
 【概要】 多言語音声対話、翻訳システムに最適な、企業向けホワイトレベルハードウェア製品です。Tumbler型をしており、デスクやカウンターで利用しやすい端末です。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り
 ・対応言語：12言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル）
 ・想定シーン：観光、公共機関、宿泊などの接客シーン
 ・価格：有料
 【問合せ先】 <https://fairydevices.jp/contact>



【サービス名】「STS with Sound Pipette™」

【提供会社】 (株)フィート
 【サービス開始時期】 2024年5月～
 【利用対象】 法人 【提供形態】 エリア收音マイク+音声翻訳システム
 【概要】 騒音環境から目的エリアの音声をクリアに吸い取るベアのマイクと音声翻訳システムを組み合わせたシステムを提供します。マイクは数センチ角で小型・軽量なため設置場所を選びません。
 ・利用環境：オフライン/オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り
 ・対応言語：15言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル、ネパールなど）
 ・想定シーン：観光案内所、交通機関、自治体、医療機関などの窓口等
 ・価格：有料
 【問合せ先】 <https://www.feat-ltd.jp/contact>

KONICA MINOLTA コトバル KOTOBAL for Medical



【サービス名】
 「多言語通訳サービス KOTOBAL for Medical」(旧名称：MELON)
 【提供会社】 コニカミノルタジャパン株式会社
 【サービス開始時期】 2016年11月～
 【利用対象】 法人 【提供形態】 アプリ・ブラウザ（端末レンタル可）
 【概要】 医療用語に対応した通訳サービス
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り
 ・対応言語：33言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、タガログ、ブラジルポルトガル、クメール、ネパール、モンゴル、ロシア、ヒンディー、ウクライナなど）
 ※ やさしい日本語、音声筆談にも対応。
 ・想定シーン：医療機関での対応全般 ・価格：有料
 【問合せ先】
<https://kotobal.konicaminolta.jp/k-rtai-translation>

KONICA MINOLTA コトバル KOTOBAL



【サービス名】「多言語通訳サービス KOTOBAL」
 【提供会社】 コニカミノルタジャパン株式会社
 【サービス開始時期】 2019年10月～
 【利用対象】 法人 【提供形態】 アプリ・ブラウザ（端末レンタル可）
 【概要】 自治体・学校・ホテルなど、専門的な業務に特化した通訳サービス
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り
 ・対応言語：33言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、タガログ、ブラジルポルトガル、クメール、ネパール、モンゴル、ロシア、ヒンディー、ウクライナなど）
 ※ やさしい日本語、音声筆談にも対応。
 ・想定シーン：自治体の窓口業務、宿泊業などの接客業務、教育機関での授業翻訳／学校生活におけるコミュニケーションなど
 ・価格：有料
 【問合せ先】 <https://kotobal.konicaminolta.jp/>



【サービス名】「コスモトーク翻訳」
 【提供会社】 (株)サークル・ワン
 【サービス開始時期】 2025年8月～
 【利用対象】 法人 【提供形態】 端末、アプリ
 【概要】 業務用無線機型の多言語同時通訳機です。距離に関係なく、翻訳した音声を同時に複数言語で発信することができます。スマートフォン等のアプリでの提供も可能です。3カ国語以上の会話や、1端末で交互に会話することもできます。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：無し
 ・対応言語：38言語（日、英、中(簡/繁)、韓、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、クメール、ネパール等）
 ・想定シーン：農作業、建設現場、警察、救急病院、自治体、観光案内など
 ・価格：有料
 【問合せ先】 <https://circleone.co.jp>
 E-mail: y_tomita@circleone.co.jp

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）

LiveTra

【サービス名】「LiveTra」
【提供会社】 TOPPAN株式会社
【サービス開始時期】 2025年4月～
【利用対象】 法人 【提供形態】 端末＋ソフトウェア
【概要】 1対多数向け投影に特化した自動同時通訳サービス
・利用環境：オフライン ・逆翻訳：無し ・辞書登録：有り
・対応言語：5言語（日、英、中(簡/繁)、韓、フランス）
・想定シーン：セミナー、商談、イベント等
・価格：有料
【問合せ先】
https://www.holdings.toppan.com/ja/news/2025/04/newsrelease250414_2.html



【サービス名】「mimi®スタンドアロン型リアルタイム通訳ノートPC」
【提供会社】 Fairy Devices(株)
【サービス開始時期】 2026年4月～
【利用対象】 法人 【提供形態】 端末＋ソフトウェア
【概要】 クラウドへ接続をせず多言語音声翻訳を実現。高セキュリティ、低レイテンシでのリアルタイム翻訳が可能。専門用語の登録などのチューニングで特殊な会話に対しても高精度の翻訳が可能。
・利用環境：オフライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り
・対応言語：4言語（日、英、中(簡/繁)、韓）
※BTOにより他の言語での組み合わせも可能
・想定シーン：ミーティング、公共機関・医療機関受付、観光案内
・価格：有料
【問合せ先】 <https://fairydevices.jp/contact1>



【サービス名】「MW スタンドアロン同時通訳」
【提供会社】 マインドワード(株)
【サービス開始時期】 2025年3月～
【利用対象】 法人 【提供形態】 端末＋ソフトウェア
【概要】 インターネット接続を必要としないリアルタイムの通訳で、スムーズな多言語コミュニケーションを実現します。通信費がかからず、セキュリティ面でも安心です。また、バッテリーで稼働するため、災害時など電源が確保できない状況でもご利用いただけます。
・利用環境：オフライン ・逆翻訳：無し ・辞書登録：有り
・対応言語：4言語（日、英、中(簡/繁)、韓）
・想定シーン：インバウンド対応、イベント、自治体・行政での業務など
・価格：有料
【問合せ先】 E-mail: mw-license@ml.mindword.jp



【サービス名】「OTOクリエイタ」
【提供会社】 (株)高電社
【サービス開始時期】 2023年9月～
【利用対象】 法人／個人 【提供形態】 ブラウザ
【概要】 ウェブブラウザ上でテキストを入力するだけで、15言語に対応した高品質な音声合成ファイルを簡単に作成できるクラウドサービスです。
・利用環境：オンライン ・辞書登録：有り
・対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語など15言語
・想定シーン：動画、eラーニング教材、放送機器、アプリなど
・価格：有料
【問合せ先】
<https://otocreator.jp/promotion/index.html>



【サービス名】「ドコツ＝AI MIX」
【提供会社】 (株)スマートボックス
【サービス開始時期】 2023年1月～（プリペイド版は2025年1月～）
【利用対象】 法人／個人 【提供形態】 ブラウザ
【概要】 AIリアルタイム翻訳とオペレーター通訳をワンタッチで切り替え利用可能
・利用環境：オンライン
・逆翻訳：有り ・よく使うフレーズ登録：有り
・対応言語：24言語（日、英、中(簡/繁)、韓、ポルトガル、スペイン、フィリピン、ベトナム、タイ、フランス、ネパール、ヒンディ、ロシア、インドネシア、クメール、ミャンマー、ウクライナ、マレーシア、モンゴル、トルコ、ドイツ、イタリア、アラビア）
・想定シーン：自治体、インバウンド対応、旅行、自治体避難所など
・価格：有料（「年間契約」と「買い切り（プリペイド）」の2プランあり）
【問合せ先】 URL：<https://mix.dokotsu-ai.com/>
URL：<https://prepaidmix.dokotsu-ai.com/>
E-mail: info@smart-box.jp



【サービス名】「VoiceOn シリーズ」
【提供会社】 (株)IP DREAM
【サービス開始時期】 2024年7月～
【利用対象】 法人 【提供形態】 端末、ブラウザ
【概要】 正確・迅速な情報伝達が求められるビジネスシーンに特化したサービスラインナップ。1対1、1:N配信、N対N会議、対面/リモート、AI自動応答、マイク操作レス、業務システム組み込み、など多様なニーズに対応。ダウンロード不要・QRコードで即スタートする使いやすさを備えます。
・利用環境：オンライン版、オフライン版 ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り
・対応言語：20言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル、など）
・想定シーン：セミナー、交渉、インバウンド、自動お問合せ案内、外国人従業員とのコミュニケーション、機密情報を含む会議・商談
・価格：有料
【問合せ先】 E-mail: global-product@ip-dream.co.jp

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



【サービス名】「VistaFinder Mx」
【提供会社】（株）KDDIテクノロジー
【サービス開始時期】2025年8月～
【利用対象】法人 【提供形態】アプリ
【概要】現場作業を遠隔地より指示、サポートするリアルタイム映像伝送システム「VistaFinder Mx」に同時通訳オプションを追加。スマートグラスを利用してハンズフリーでシームレスな翻訳を実現するなど多言語対応した作業支援・リアルタイムコミュニケーションツールです。・利用環境：オンライン
・逆翻訳：無し（今後対応予定） ・辞書登録：無し（対応応相談）
・対応言語：9言語（日、英、中（簡/繁）、韓、フランス、インドネシア、タイ、ベトナム）・想定シーン：作業現場 ・価格：有料
【問合せ先】 URL: <https://vistafindermx.kddi-tech.com/>
E-mail: vista-finder-support@kddi-tech.com

【サービス名】「ドコツァーAIMIX Meeting」

【提供会社】（株）スマートボックス

【サービス開始時期】2026年7月～

【利用対象】法人 【提供形態】ブラウザ

【概要】AIリアルタイム翻訳とオペレーター通訳をワンタッチで切り替え利用可能。AIリアルタイム翻訳はn対nでコミュニケーションが取れる通訳サービスとなります。ゲスト側は無料で参加可能となります。

・利用環境：オンライン

・テキスト翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：24言語（日、英、中（簡/繁）、韓、ポルトガル、スペイン、フィリピン、ベトナム、タイ、フランス、ネパール、ヒンディ、ロシア、インドネシア、クメール、ミャンマー、ウクライナ、マレーシア、モンゴル、トルコ、ドイツ、イタリア、アラビア）

・想定シーン：オンライン会議／セミナー、ツアー旅行、外国人従業員とのコミュニケーション、学校教育現場、自治体避難所

・価格：有料

【問合せ先】 URL: <https://dokotsu-ai.com/>

E-mail: info@smart-box.jp



【サービス名】「VoiceBiz[®]」（ボイスビズ）

【提供会社】 TOPPAN(株)

【サービス開始時期】2018年6月～

【利用対象】法人 【提供形態】アプリ

【概要】訪日外国人や外国人就労者などの、多言語コミュニケーションを支援する音声翻訳サービス。iOS/Androidのスマホ・タブレットに対応。すぐ使える用語や定型文を標準搭載し、オプションでのカスタマイズも可能。ラウンドスクリーンモードや、文字表示サイズの変更、コピー機能などを搭載。

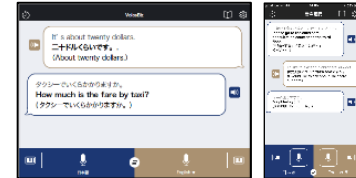
・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：30言語（日、英、中（簡/繁）、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル、クメール、ネパール、モンゴルなど）

・想定シーン：訪日外国人対応、自治体窓口や外国人技能研修など

・価格：有料

【問合せ先】 E-mail: info-voicebiz@toppan.co.jp



【サービス名】「VoiceBiz[®] Remote」

【提供会社】 TOPPAN(株)

【サービス開始時期】2024年11月～

【利用対象】法人 【提供形態】ブラウザ

【概要】複数人の外国人に対して、端末を通じて同時に説明、案内を行うことができる自動翻訳サービス。複数のインバウンド旅行者のスマートフォンに伝達事項を母国語で伝えることが可能。音声・文字の両方に対応。

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：例）12言語（日、英、中（簡/繁）、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル）

・想定シーン：工場見学、観光ツアー、チャット、店舗接客

・価格：有料

【問合せ先】

https://solution.toppan.co.jp/newnormal/service/voicebiz_remote.html



FEAT

【サービス名】「PC同時通訳システム」

（どこでも翻訳[®]Neo）

【提供会社】（株）フィート

【サービス開始時期】2025年11月～

【利用対象】法人 【提供形態】ソフトウェア

【概要】軽量ノートPCや小型PC単体で多言語同時通訳を実現できます。表示レイアウト、入出力デバイス、処理フローを簡単かつ自由に変更できます。

・利用環境：オフライン/オンライン ・逆翻訳：可能 ・辞書登録：有り

・対応言語：15言語（日、英、中（簡/繁）、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル、ネパールなど）

※ただし、オフライン（スタンドアローン）の場合は、任意の4言語間まで

・想定シーン：国際会議やシンポジウム、講演会、学校の授業、多言語字幕作成、耳が聞こえない聞こえにくい人のための文字起こし

・価格：有料

【問合せ先】 <https://www.feat-ltd.jp/contact>



【サービス名】「mimi[®] 音声翻訳 powered by NICT」

【提供会社】 Fairy Devices (株)

【サービス開始時期】2018年7月～

【利用対象】法人 【提供形態】アプリ

【概要】NICTが提供する多言語音声翻訳技術で大規模運用実績のあるmimiクラウドAPIに適用し、利用するアプリです。当社がサービス提供を行うホワイトラベル・アプリケーションとしてもご利用いただけます（有償）。

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：無し

・対応言語：10言語（日、英、中（簡）、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー）

・想定シーン：観光、公共機関、宿泊などの接客シーン

・価格：無料（1日の利用回数に制限があります）

【問合せ先】 <https://fairydevices.jp/contact>

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



【サービス名】「BRIDGEアプリ」
【提供会社】（株）BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS
【サービス開始時期】2024年7月～
【利用対象】法人
【提供形態】アプリ
【概要】ハイブリッドAI通訳アプリ
AI（音声通訳、対面通訳、同時通訳）と人（通訳者との通話）によるハイブリッド通訳機能の提供
・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り・辞書登録：応相談
・対応言語：最大76言語、※人による通訳は256言語
・想定シーン：訪日外国人旅行者の受付対応、水際対策など
・価格：有料
【問合せ先】 <https://bridge-msj.com/>
TEL 03-5366-6018

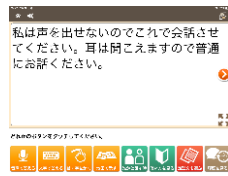


【サービス名】「みらい翻訳 AI動画字幕」
【提供会社】（株）みらい翻訳
【サービス開始時期】2024年6月～
【利用対象】個人 【提供形態】ブラウザ
【概要】ファイルを投入するだけで音声を実タイムで翻訳、字幕を付けた動画をエクスポートできる動画字幕サービス。翻訳結果は画面上で編集することも可能です。
・利用環境：オンライン ・逆翻訳：無し ・辞書登録：有り
・対応言語：2言語（日、英）
・想定シーン：研修動画、紹介動画等への字幕付与、議事録作成
・価格：有料
【問合せ先】 <https://miraitranslate.com/special/video-translate/>

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声認識・音声合成サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



【サービス名】「こえとら」

【提供会社】(株)フィート

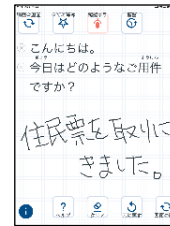
【サービス開始時期】2015年2月～

【利用対象】法人／個人 【提供形態】アプリ

【概要】NICTの音声認識・音声合成技術を活用した、聴覚障害者と健聴者とのスムーズなコミュニケーションを支援するアプリです。音声を文字で伝えたり、よく使う文を定型文として登録して利用したりすることができます。

- ・利用環境：オンラインおよびオフライン ・辞書登録：無し
- ・対応言語：日本語の音声認識、出力
- ・想定シーン：聴覚障害者と健聴者の日常のコミュニケーション
- ・価格：無料

【問合せ先】 <https://www.koetra.jp/>



【サービス名】「SpeechCanvas For Biz」
および「SpeechCanvas」

【提供会社】(株)フィート

【サービス開始時期】2017年4月～

【利用対象】法人／個人 【提供形態】アプリ

【概要】聴覚障害者と健聴者との会話を、音声認識技術を使って強力にサポートするアプリです。公共機関の窓口対応や店頭での接客サービスのほか、職場や学校、ご家庭など、生活のさまざまなシーンでお使いいただけます。法人向けは、①『システムの信頼性・安全性』②利用者の要望に応じた『カスタマイズ対応』に配慮したサービスとなっております。

- ・利用環境：オフラインおよびオンライン ・辞書登録：有り ※ForBiz版
- ・対応言語：日本語の音声認識
- ・想定シーン：聴覚障害者と健聴者の日常のコミュニケーション
- ・価格：有料（法人向け）／無料（個人向け）

【問合せ先】 <https://www.speechcanvas.jp/>

参考



【サービス名】「救急ボイストラ」

【運用機関】総務省消防庁消防研究センター

【運用開始時期】2017年4月～

【利用対象】※消防本部向け専用サービス（一般へは非公開）

【提供形態】アプリ

【概要】「VoiceTra」をベースに、救急現場で使用頻度が高い会話内容を定型文として追加しました。

【問合せ先】

消防庁消防研究センター「救急ボイストラ担当」

E-mail: kyukyuvoicetra@fri.go.jp

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

テキスト翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



【サービス名】「XMAT®（トランスマット）」
 【提供会社】（株）川村インターナショナル
 【サービス開始時期】2021年1月～【利用対象】法人／個人
 【概要】複数の機械翻訳エンジン/生成AIを定額・文字数無制限で利用可能です。OCR対応のファイル翻訳とテキスト翻訳、効率的な訳文修正エディタ機能/AI修正も完備。高精度な翻訳からカスタムエンジンの構築・活用まで、ISO 27017取得済みの高セキュリティ環境にて翻訳業務を効率化します。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有リ ・辞書登録：有リ
 ・対応言語：21言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、クメール、ネパール、モンゴル、など）
 ・活用分野：ビジネス、特許、法令、IR、金融、サイエンス、ニュース
 ・価格：有料（無料トライアルあり）
 【問合せ先】 <https://ldxlab.io/xmat>
 E-mail: sales@k-intl.co.jp



【サービス名】「みんなの自動翻訳@KI（商用版）」
 【提供会社】（株）川村インターナショナル
 【サービス開始時期】2018年5月～【利用対象】法人（個人版もあり）
 【概要】分野に特化した複数の機械翻訳エンジンが高速かつ高精度な翻訳を提供します。独自開発のPDF・OCR対応ファイル翻訳に加え、API連携やエンジンカスタマイズ、大規模運用向けのカスタム開発も対応可能です。
 ・利用環境：オンライン（SaaS、プライベートクラウド）、オンプレミス
 ・逆翻訳：有リ ・辞書登録：有リ
 ・対応言語：21言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、クメール、ネパール、モンゴル、など）
 ・活用分野：ビジネス、特許、法令、IR、金融、サイエンス、ニュース
 ・価格：有料（無料トライアルあり）
 【問合せ先】 <https://www.k-intl.co.jp/minna-mt-general>
 E-mail: sales@k-intl.co.jp



【サービス名】「T-tact AN-ZIN®（ティータクト アンジン）」
 【提供会社】（株）十印（とおいん）
 【サービス開始時期】2019年7月～
 【利用対象】法人（個人も可能）
 【概要】わかりやすいインターフェイスで簡単に高精度エンジンを使用できる。コストパフォーマンスに優れ、アカウント無制限なので全社で使用可能。翻訳会社が最適な運用をお手伝い。
 ・利用環境：オンプレミス、プライベートクラウド、オンライン（SaaS）
 ・逆翻訳：有リ ・辞書登録：有リ
 ・対応言語：15言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、ポルトガル、イタリア、ドイツ、ロシア、アラビア）
 ・活用分野：汎用、リーガル、特許、特許請求項、半導体、金融 他
 ・価格：有料
 【問合せ先】 <https://to-in.com/service/mt/an-zin>
 E-mail: mt-strategies@to-in.co.jp（営業部 営業1課）

医薬特化AI翻訳プラットフォーム



【サービス名】「AIKO SciLingual」
 【提供会社】（株）アスカコーポレーション
 【サービス開始時期】2021年11月～
 【利用対象】法人
 【概要】AIKO SciLingualは医学・医薬に特化したAI翻訳プラットフォームです。翻訳精度を高めたい、専門性にこだわりたい、共有したいなど、現場の皆様の期待に応えます。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有リ ・辞書登録：有リ
 ・対応言語：36言語（日、英、中(簡/繁)、フランス、イタリア、スペイン、ドイツ、ウクライナ、など）
 ・活用分野：医薬文書、論文、ビジネス文書等
 ・価格：有料（無料トライアルあり）
 【問合せ先】 <https://www.asca-co.com/special/aiko/contact/>
 E-mail: aiko.scilingual@asca-co.com



【サービス名】「COTOHA® Translator」
 【提供会社】NTTドコモビジネス株式会社
 【サービス開始時期】2018年3月～
 【利用対象】法人
 【概要】PowerPoint、Word、Excel、PDF等のファイルを丸ごと、ドラッグ＆ドロップするだけでわずかな時間でTOEIC960点超レベルの高精度翻訳を実現。NTTComならではのセキュリティで機密文書の翻訳も安心です。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有リ ・辞書登録：有リ
 ・対応言語：21言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ポルトガル、ドイツ、など）※一部オプション
 ・活用分野：ビジネス文書全般、契約書、法務文書、財務文書等の翻訳
 ・価格：有料（無料トライアルあり）
 【問合せ先】 <https://www.ntt.com/business/services/application/ai/cotoha-translator.html>



【サービス名】「ATOM KNOWLEDGE」
 【提供会社】（株）CMCエクスマニコム
 【サービス開始時期】2019年11月～【利用対象】法人
 【概要】ATOM KNOWLEDGEは、高品質翻訳、使いやすさとセキュリティを兼ね備えた法人向けAI翻訳サービスです。用語や翻訳データの登録、独自開発の校正チェック機能を備えており、企業内での様々な翻訳需要にお応えします。企業内での翻訳費用の低減、生産性向上に役立つサービスです。
 ・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有リ ・辞書登録：有リ
 ・対応言語：36言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、ドイツ、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、タガログ、クメール、ネパール、モンゴルなど）※機能により他の言語も使用可能
 ・活用分野：一般ビジネス文書、技術文書、特許文書、金融・IR文書
 ・価格：有料（無料トライアルあり）
 【問合せ先】 <https://atomknowledge.info/>
 E-mail: atomknowledge@cmc-xmanicom.co.jp

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

テキスト翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



【サービス名】「WizLabo AI Translate」

【提供会社】宝印刷(株)

【サービス開始時期】2026年4月～

【利用対象】法人

【概要】宝印刷が提供する開示書類作成支援システム「WizLabo」と密接に連携し、有価証券報告書や決算短信、招集通知といった書類を、システム上でシームレスに英文へと変換する顧客利用型サービスです。

・利用環境：オンライン

・逆翻訳：有り

・辞書登録：有り

・対応言語：2言語（日、英）

・活用分野：有価証券報告書、決算短信、招集通知などの開示書類

・価格：有料

【問合せ先】<https://www.takara-print.co.jp/contact/>



【サービス名】「DOCCAI翻訳」

【提供会社】(株)東芝

【サービス開始時期】2021年10月～ 【利用対象】法人

【概要】NICT-NMTエンジンを核に東芝の自然言語処理技術、AI-OCRを組み合わせて、多様な専門文書に対する高精度な機械翻訳処理を提供します。

・利用環境：オンラインおよびオフライン ・逆翻訳：無し ・辞書登録：有り
・対応言語：11言語（日、英、中(簡/繁)、韓、フランス、ベトナム、スペイン、ポルトガル、ロシア、イタリア、アラビア）※応相談

・活用分野：ビジネス文書、行政文書、技術文書、法令文書、特許文書、経済安全保障関連文書

・価格：有料

【問合せ先】<https://www.global.toshiba.jp/products-solutions/public-ict/doccai.html>

E-mail: tdsl-mt-contact@toshiba-sol.co.jp



【サービス名】「製薬業界向け翻訳サービス PharmaTra®」

【提供会社】TOPPAN(株)

【サービス開始時期】2020年4月～

【利用対象】法人

【概要】臨床開発ドキュメントの翻訳に適した「機械翻訳」サービス。蓄積した翻訳データからAI学習することでさらなる機械翻訳の精度UPが可能！

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：2言語（日、英）

・活用分野：製薬関連文書

・価格：有料

【問合せ先】E-mail: phamatra@toppan.co.jp



【サービス名】「金融分野向け機械翻訳サービス FinTra®」

【提供会社】TOPPAN(株)

【サービス開始時期】2022年4月～

【利用対象】法人

【概要】金融分野の高品質な対訳で学習させた翻訳エンジンを搭載。

「金融機関での文書翻訳」「金融関連部門での文書翻訳」の業務効率化に役立ちます。

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：2言語（日、英）

・活用分野：金融関連文書

・価格：有料

【問合せ先】Email: text_mt@toppan.co.jp



日本特許翻訳株式会社

【サービス名】「ProTranslator Neo™」

【提供会社】日本特許翻訳株式会社

【サービス開始時期】2026年1月～ 【利用対象】法人

【概要】memoQオンラインをコアとし、npat独自LLMとNICT NMTを統合した統合支援翻訳サービスです。翻訳メモリおよび用語ベースを参照したInstant Domain Adaptive MT並びにNMT訳および用語ベースを参照したLLMTransPro™（高精度翻訳）を提供します。さらに、セグメント単位に顧客定義の多観点品質評価TransCheckPro™も搭載。また、NICT NMT/LLM/memoQサーバーとも自社データセンター内自社サーバーによるISO27001/27017認証サービスでセキュリティを担保します。

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：無し(LLMによる翻訳チェック有)

・辞書登録：有り

・対応言語：6言語（日、英、中(簡/繁)、韓、フランス、ドイツ）

・活用分野：例）特許文書、医薬翻訳、マニュアルなど

・価格：有料 or 無料

【問合せ先】URL: <https://npat.co.jp/inquiry/>

<https://npat.co.jp> E-mail: info@npat.co.jp



【サービス名】「CRYSTALTRANSLATOR® BUSINESS」

【提供会社】マインドワード(株)

【サービス開始時期】2023年2月～

【利用対象】法人

【概要】NICTの最新技術をベースにした汎用翻訳・専門翻訳をはじめ、アダプテーションによるカスタマイズエンジンの構築やCATツールとの連携など、自動翻訳に関する多様な課題に対して、最適なソリューションをワンストップで提供します。

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：10言語（日、英、中(簡/繁)、韓、ベトナム、スペイン、フランス、ドイツ、アラビア、ロシア）

・活用分野：ビジネス全般、特許、金融、法令、サイエンス、ニュース

・価格：有料（無料トライアルあり）

【問合せ先】<https://www.mindword.jp/services/>

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

テキスト翻訳サービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



MiraiTranslator®

【サービス名】「Mirai Translator®」

【提供会社】（株）みらい翻訳

【サービス開始時期】2017年12月～

【利用対象】法人

【概要】TOEIC960点レベルのカスタマイズ可能なニューラル機械翻訳エンジンを搭載し、高速で翻訳処理する企業向けのサービス。ユーザ辞書機能を利用したテキスト翻訳やファイル翻訳を、グループ単位でご利用いただけます。

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：21言語（日、英、中（簡/繁）、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、ポルトガル、イタリア、ドイツ、ロシア、ポーランド、アラビア、オランダ、ハンガリー、トルコ、ヘブライ、ノルウェー）

・活用分野：ビジネス文書全般、契約書などの法務文書、特許関連文書等

・価格：有料

【問合せ先】<https://miraitranslate.com/contact/>



【サービス名】「ヤラク翻訳」

【提供会社】八楽(株)

【サービス開始時期】2015年10月～

【利用対象】法人

【概要】ヤラク翻訳で翻訳のすべてをスマートに。AI翻訳からポストエディット、共有、管理までを1つにする翻訳支援ツール

・利用環境：オンライン ・逆翻訳：有り ・辞書登録：有り

・対応言語：36言語（日、英、中（簡/繁）、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、タガログ、ポルトガル、ネパール、モンゴル、ドイツ、ウクライナ、など）

・活用分野：ビジネス文書全般、契約書等

・価格：有料（無料トライアルあり）

【問合せ先】<https://www.yaraku.com/contact>

E-mail: support@yaraku.com

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービス事例

音声翻訳APIサービス

（総務省・情報通信研究機構調べ：2026年7月現在）



Cloud API Service

mimi® Cloud API Service

新機能：テキスト翻訳 32言語対応

【サービス名】「mimi® Cloud API Service」

【提供会社】Fairy Devices(株)

【サービス開始時期】2017年11月～ 【利用対象】法人／個人

【概要】多言語による音声認識・翻訳・合成機能、自動言語識別に加え、話者識別、態度識別、感情機能も備えた音声ワストップソリューションです。テキスト翻訳は、最新の32言語翻訳モデルに対応しています。

・利用環境：オンライン ・辞書登録：有り

・対応言語：音声翻訳13言語（日、英、中(簡/繁)、韓、タイ、フランス、インドネシア、ベトナム、スペイン、ミャンマー、フィリピン、ブラジルポルトガル、独）
テキスト翻訳 32言語（日、英、中、韓、ウクライナ、アラビア、ヒンディ、など）
またダイレクト翻訳（英→中、韓→英、など）も利用可能です。

・想定シーン：インバウンド対応含む音声コミュニケーションビジネス全般

・価格：有料

【問合せ先】<https://fairydevices.jp/contact>

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）の 多言語翻訳技術導入のご相談先



【機関名】 NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所
マルチモーダルAIコミュニケーション研究センター（ASTREC）

【内容】 多言語翻訳関連の技術導入のマッチング支援

【概要】 ご要望に応じて、NICTの技術を用いた各種サービスを展開している企業をご紹介します。

- ・インバウンドビジネスをトータルに支援している企業
- ・アプリ開発企業
- ・翻訳エンジンのプラットフォームを提供する企業
- ・音声認識システムを提供する企業
- ・翻訳業務を提供する企業
- ・その他

【問合せ先】

音声翻訳技術 E-mail: ict@khn.nict.go.jp

テキスト翻訳 E-mail: textra-info@khn.nict.go.jp

本資料について

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)は、産学官連携によるオールジャパン体制で多言語翻訳技術の研究開発に取り組んでいます。本資料は、NICTが開発・提供している多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra®」(ボイストラ)及び「みんなの自動翻訳@TexTra®」(テキストラ)に活用されている多言語翻訳技術の社会実装及び普及展開に向けて、当該技術について利用を検討、又は興味をお持ちの組織・団体・個人の皆様に、技術を活用した製品やサービスを紹介し、円滑な利用や導入に資するよう作成しているものです。



総務省



国立研究開発法人
情報通信研究機構

本資料への掲載基準について

1. NICTの多言語翻訳技術に由来する技術を使用している製品やサービスを対象とします。
2. 既に提供が開始されている、または提供の開始が確実に見込まれる製品やサービスを対象とします。
3. 特定少数のユーザ(例: 特定企業向け)にカスタマイズされている製品やサービスは除きます。
ただし、特定業種向けであっても、多数の組織で利用可能な製品やサービスは対象とします。

総行国第 63 号
総国研第 44 号
総情振第 39 号
令和3年4月 23 日

各都道府県・指定都市多文化共生主管部局長 殿
各地域国際化協会事務局長 殿

総務省自治行政局国際室長
総務省国際戦略局技術政策課研究推進室長
総務省情報流通行政局情報流通振興課長
(公 印 省 略)

地方公共団体における多言語翻訳技術の活用の推進について

日頃から、地域における多文化共生の取組の推進に当たり、御理解、御協力を賜り、感謝申し上げます。

総務省では、外国人住民の増加・多国籍化、デジタル化の進展等、多文化共生施策を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえて、令和2年度に「地域における多文化共生推進プラン」を改訂し、「地域における多文化共生推進プランの改訂について」(令和2年9月 10 日付け総行国第 100 号)において周知しました。改訂後の「地域における多文化共生推進プラン」において、地域における多文化共生を推進するための具体的な施策として、多言語翻訳アプリ等の多言語翻訳サービスの活用も含めた必要な多言語対応の体制整備の重要性について言及しています。

多言語翻訳技術については、世界の「言葉の壁」の解消を目的として、「グローバルコミュニケーション計画2025」(令和2年3月総務省)に基づき、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が開発した技術の研究開発と社会実装に取り組んでいます。これまでの取組により、NICT の多言語翻訳技術は、翻訳精度の向上や対応言語の拡大を実現し、多様な翻訳サービスが実用化・普及して、行政手続・医療・交通・観光等の様々な分野で活用されています。

こうした状況を踏まえ、多言語翻訳技術の活用に関する総務省の取組を下記のとおりまとめましたので、各地方公共団体におかれては、地域の実情を踏まえて、多言語翻訳アプリ等の積極的な導入の具体的検討を行い、多言語翻訳技術の活用について検討・推進いただきますようお願いいたします。

また、貴都道府県内の市区町村に対しても、本通知の内容について周知いただきますようお願いいたします。

1 多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービスの事例について

NICT の多言語翻訳技術を活用した民間企業の製品・サービスの事例について、例えば以下の URL に掲載されているので、各地方公共団体における必要と考える対応言語、利用の想定シーン等を踏まえながら、これらの活用について御検討ください。

https://gcp.nict.go.jp/news/products_and_services_GCP.pdf

2 先進的な取組事例について

例年実施している「地域国際化連絡会議」や「多文化共生地域会議」等において、多言語翻訳サービスを用いた取組事例を紹介することを予定しています。また、総務省が実施している「多文化共生アドバイザー制度」において、多言語翻訳サービスを用いた取組等についての見識を有するアドバイザーも登録されていることから、総務省の以下の HP に掲載している多文化共生アドバイザー名簿等を御参照の上、活用についても御検討ください。

https://www.soumu.go.jp/menu/seisaku/chiho/02gyosei05_03000060.html

さらに、地域における多文化共生施策を推進するために作成した「多文化共生事例集」を令和3年度に更新・改訂することを予定しています。この中で多言語翻訳サービスを用いた取組事例を紹介することを予定していますので、併せて御参考としてください。

3 『地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイド』の策定・公表について

多言語翻訳システムを円滑に導入するための手順や留意点について掲載した『地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイド』を令和3年4月に策定・公表しました。総務省の以下の HP に掲載していますので、多言語音声翻訳サービスの新たな導入を検討等している地方公共団体におかれては、御参考としてください。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000745491.pdf

4 多言語翻訳サービスの活用等に係る特別交付税措置(市町村分)について

平成31年度から、地域における多文化共生の推進に要する経費のうち、多言語翻訳サービスの導入・運用経費を含め、行政・生活情報の多言語化の推進に要する経費について、その5割を特別交付税により措置することとしていますので、市町村におかれては、このことに御留意の上、多言語翻訳サービスの活用等について御検討ください。

【参考】行政・生活情報の多言語化の推進に要する経費として特別交付税措置の対象となる経費

市町村が地方単独事業として実施する行政・生活情報の多言語化に要する事業に係る次の経費

- ① 通訳業務の委託に要する経費(通訳者の任用費、通訳者向け研修費、通訳コールセンター等への業務委託費)
- ② 翻訳機器(タブレット端末)の配備に要する経費(翻訳機器の購入費、リース料、保守料、通信料、相談料、ライセンス料、操作マニュアル作成費、職員向け研修費(研修会場借り上げ費、研修講師謝金等)、その他初期費用)
- ③ 行政・生活情報の翻訳に要する経費(翻訳者の任用費、各種情報誌・HP等の作成・改修に係る翻訳委託費、翻訳ソフト等の翻訳に係る物品購入費)

【連絡先】

(2、4関係)

総務省自治行政局国際室 石川、大橋

TEL:03-5253-5527 FAX:03-5253-5529

(1関係)

総務省国際戦略局技術政策課研究推進室

影井、山本、長岡、吉住

TEL:03-5253-5730 FAX:03-5253-5732

(3関係)

総務省情報流通行政局情報流通振興課

安藤、山際、村田

TEL:03-5253-5748 FAX:03-5253-6041

地方公共団体における 「多言語音声翻訳サービス」の 導入ガイド



令和3年4月

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課

目次

背景と目的	2ページ
-------	-----------

第1章 多言語音声翻訳サービスの概要

1-1.多言語音声翻訳サービスとは	3ページ
1-2.多言語音声翻訳サービスの特徴と効果	4ページ

第2章 検討開始から導入・運用までの流れ

2-1.導入にあたってのタスク例	6ページ
2-2.中心となる担当者と体制	7ページ

第3章 導入するためのポイント

3-1.導入するためのポイント	8ページ
3-2.関係者に導入の必要性を理解してもらうために（コラム）	14ページ

第4章 運用におけるポイント

4-1. 運用時に課題になりやすいこと	16ページ
4-2. サービスを活用してもらうためのポイント	17ページ

最後に	20ページ
-----	------------

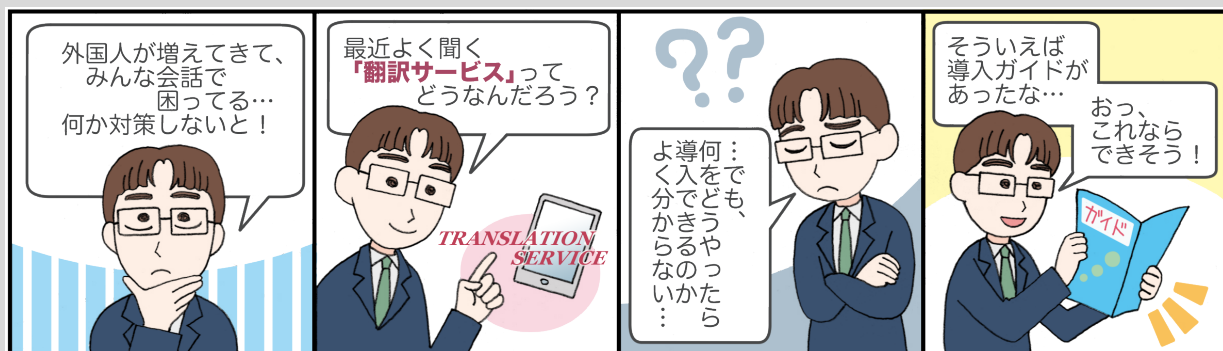
背景と目的

日本に住む在留外国人は2010年から2020年の約10年間で208万人から288万人と約1.4倍に増加しており、外国人の方と接する機会が年々増えています。近年受入れが拡大している技能実習生については非英語圏の外国人の方が多くを占めており、国籍や言語の多様化が進んでいます。このような状況から、地方公共団体における外国人住民対応策の一つとして多言語音声翻訳サービスへの期待が高まっています。

しかし、多言語音声翻訳サービスを導入するには何から始めたらよいか、検討段階から悩まれる地方公共団体担当者の方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。本導入ガイド(以降、本ガイド)では、地方公共団体担当者の方による、多言語音声翻訳サービスの円滑な導入と運用を支援するため、様々な地方公共団体の事例を交えつつ、導入と運用におけるポイントを説明しています。

なお、本ガイドの作成に当たっては、全国25か所の地方公共団体へヒアリングを行い、導入に至るまでの経緯や課題などを調査した上で、地方公共団体の職員や有識者、サービスを提供する民間事業者などの様々な方との意見交換を行いました。

<こんな方におすすめ>



➡ 何から始めたらよいか分からない、という方にこそ読んでいただけるよう具体的な説明を心がけた本ガイドを作成しました。

1-1. 多言語音声翻訳サービスとは

外国人住民とのコミュニケーションにおいては、窓口・電話・メールなど、様々なシーンがあります。主な多言語対応として、通訳者・電話通訳・文書翻訳・多言語音声翻訳サービスなどが挙げられます。本ガイドでは対面でのコミュニケーションをサポートする多言語音声翻訳サービスについて取り上げます。

多言語音声翻訳サービスとは、専用機器やタブレット端末などに音声を入力すると、外国語に翻訳された音声が出力されるサービスを指します。

シーンに応じた多言語対応

多言語音声翻訳サービス

専用機器やタブレット端末などを用いた対面のコミュニケーション



本ガイドの対象

電話通訳

電話回線で遠隔の通訳者を介した3者間コミュニケーション(※)



文書翻訳

翻訳した文書やメールを用いたコミュニケーション



通訳者

現場の通訳者を介した3者間での対面のコミュニケーション



(※)電話回線を介して多言語音声翻訳システムにつながるサービスもございます。

1-2.多言語音声翻訳サービスの特徴と効果

多言語音声翻訳サービスの代表的な特徴と効果を紹介します。

多言語音声翻訳サービスの特徴

通訳者など人を介さずにシステム上で翻訳する多言語音声翻訳サービスには、いくつかの特徴があります。

簡易に利用できる

言語	月	火	水	木	金
英語・中国語	●		●		●
ベトナム語		●		●	
多言語翻訳機	どの時間でもご利用可能				



通訳者の手配には事前のスケジュール調整等が必要であるのに対し、多言語音声翻訳サービスは現場で即座に利用できるため、外国語での対応が急遽必要となった場合も、外国人住民とスムーズにコミュニケーションが取れます。

幅広い言語に対応できる



1つの多言語音声翻訳サービスで複数の言語に対応することが可能です。また、サービスによっては、英語や中国語から、通訳者等の数が少ない希少言語まで、幅広い言語に対応できるものもあります。

導入後の制約が少ない



利用にかかるコストが、利用頻度に関わらず定額であったり、専用端末の購入代金のみ負担であるサービスについては、気軽に何回でも利用がきます。また、庁内だけでなく出張所や関連施設、教育機関、訪問先などへ携帯して利用できるものもあります。

※利用条件はサービスによって異なります。

すぐに現場へ導入できる



通訳者の採用に比べ時間を掛けずに導入でき、状況に応じて端末やライセンスを追加することも簡単です。

多言語音声翻訳サービスの効果

多言語音声翻訳サービスを導入することで得られる効果について、導入前後の比較で事例を紹介します。

外国人住民と深いコミュニケーションが取れるようになる

外国人住民の考えや思いを深く理解できることで、より質の高い行政サービスを提供できるようになります。

<地方公共団体の参考事例>



解説

多言語音声翻訳サービスの導入で、深いコミュニケーションがとれるようになり、本人のスキルに見合った就職先を紹介できるようになった。

外国人住民の心理的な負担を軽減できる

地方公共団対側で手配する通訳者等と、来庁された外国人住民とが、該当地域において顔見知りであるケースも少なくありません。センシティブな内容について相談したい外国人住民からは、第三者が介在しない多言語音声翻訳サービスの利用を希望する声が寄せられています。

<地方公共団体の参考事例>



解説

通訳者が知人だと込み入った相談ができなかったが、多言語音声翻訳サービスの利用によりプライバシーが守られ、生活相談(生活保護やDV)なども受けやすくなった。

2-1. 導入にあたってのタスク例

多言語音声翻訳サービスを既に導入している地方公共団体において取り組まれた、主な流れとタスクの例を紹介します。

開始

導入・運用に向けた体制作り

タスク	ポイント、取り組み内容	詳細
推進メンバーの決定	導入を推進する担当者の決定	▶ 第2章 7ページ(上段)
関係者との連携	翻訳サービスに関わる調整が必要な部門と連携	▶ 第2章 7ページ(下段)

調査

実態把握と翻訳サービスの検討

実態調査	地域の外国人住民の現状と現場の課題を把握	▶ 第3章 9～12ページ
翻訳サービスの検討	対応言語や業務に見合ったサービスを選択	▶ 第3章 13ページ

提案

予算の確保に向けた関係者との調整

予算の要求	調査結果をもとに財務部門をはじめとする関係者へ説明して予算を確保	▶ 第3章 14～15ページ
-------	----------------------------------	-------------------

運用

サービスが利用されるための運用検討

運用ルールを検討	翻訳サービスを活用してもらうためのルール作りや庁内外への周知	▶ 第4章 16～19ページ
----------	--------------------------------	-------------------

2-2. 中心となる担当者と体制

すでに導入している地方公共団体を参考に、想定される推進担当者と連携する部門を紹介します。

想定される担当者像

担当者として想定される方は以下です。



- 窓口業務に従事する方

市民課・税務課・国民健康保険課等、窓口などで実際に外国人住民の相談を受けている担当者

- 多文化共生を推進する方

多文化共生課・国際課等、地域の外国人住民向けサービスの向上に取り組んでいる担当者

- 組織横断的に対応できる方

政策課や企画課等、庁内全体の視点からの検討ができる担当者

連携する部門

導入や運用を進めるうえで、財務などの関連部門や同じ課題を抱える他部門に協力してもらう場面があります。初期段階からの連携によって各対応が円滑に進みます。

推進担当者



連携



連携する部門

財務部門



予算確保に向けた企画内容の相談や説明を行います。

その他の部門



契約や情報システムに関連する部門と相談して専門的な疑問点を解消します。

同じ課題を抱える他部門



予算の共同請求や調査業務などを連携して行います。

3-1. 導入するためのポイント

多言語音声翻訳サービスの導入に当たっては、各地方公共団体において、現場の外国人住民対応の実態を把握したうえで、有効な多言語音声翻訳サービスを選択する必要があります。他方、現場の実態を把握するための調査の方法や、多言語音声翻訳サービスを選択するに当たって着目すべき観点が分からず、導入を円滑に進められないといったケースがあります。

本章ではこのような背景を踏まえ、以下の2つのポイントについて紹介します。

ポイント1 外国人住民対応の実態（現場の課題）を把握する



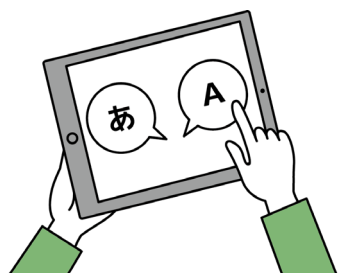
多言語音声翻訳サービスの導入の必要性や、導入すべき部署や業務の判断に当たっては、地域の外国人住民の現状や現場の課題を把握することが重要です。本ポイントでは、これらを把握するために必要な調査とその方法を紹介します。

把握すべき内容として以下があります。

- ・在留外国人の比率
- ・多言語対応に課題を抱えている部署
- ・外国人住民の要望

詳細は9ページで紹介しています。

ポイント2 現場の課題解決に有効な多言語音声翻訳サービスを選択する



現在、様々な機能や形態の多言語音声翻訳サービスが登場しています。本ポイントでは、各地方公共団体の現場において有効なサービスを選定するに当たり、着目すべき観点を紹介します。

詳細は13ページで紹介しています。

ポイント1 外国人住民対応の実態（現場の課題）を把握する

デスクリサーチ



デスクリサーチにより、人口・人口比率や国籍、在留資格別人口など地域の外国人住民の動向を把握します。補助金制度が活用できると予算確保しやすくなる場合もあるので、合わせて調査することも有効です。

●把握する項目例

項目	調査例	参考サイト
地域に住む外国人住民の数	・人口 ・人口比率 (人口から計算)	・e-Stat(政府統計の総合窓口) ・在留外国人統計 ・住民基本台帳
必要な言語数	国籍	・e-Stat(政府統計の総合窓口) ・在留外国人統計
地域に住む外国人住民の日本語レベルの推測	在留資格別人口	
導入にかかる費用を抑える方法	・補助金制度 ・交付金制度	・一般財団法人自治体国際化協会(クレア) ・総務省 地域情報通信振興関連施策集 ・国や都道府県が掲げる多文化推進プラン

地方公共団体の参考事例

A市



●他の地方公共団体と比較した

デスクリサーチで在留外国人の人口・人口比率を把握して、似た環境下にある地方公共団体を探した。同じ県内のB市が該当しており、すでに多言語音声翻訳サービスを導入していたので、B市に導入の経緯などをヒアリングした。財務へ説明する際は、B市との比較を行い導入の根拠として提示した。

(地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より)

ヒアリング調査



ヒアリング調査により、対応が必要な言語・苦勞する相談内容など、現場が抱える課題を詳細に把握します。

これらは、多言語音声翻訳サービスの導入の必要性の判断や有効なサービスの選択に当たっての重要な情報となります。

●把握する項目例

項目	具体例	調査対象
多言語対応が発生する部門（または業務）と負担	- 多言語対応が発生する部門（または業務）を確認する - 対応にかかる時間および人数を確認する	庁内職員
対応が必要な言語	- 対応が必要な言語を確認する - 既存の方法（通訳等）では対応できない希少言語がないか確認する	
言葉が伝わらない相談	どのような相談内容で対応に苦勞しているかを確認する	- 庁内職員 - 外国人住民

地方公共団体の参考事例

A市



●外国人を支援する日本人にヒアリング対象を広げた

外国人住民の場合、アンケートの内容が理解されない可能性もあるので、日本語教室の教師、外国人コミュニティの在留外国人支援者、在留外国人を取りまとめている民間企業などにヒアリングした。在留外国人を支援している日本人を介してヒアリングした方が正確な情報を聞けることがある。

B市



●通訳者から情報を収集した

B市に在籍の通訳者は海外をルーツに持ち、在留期間も長く、日本語、母語が話せるキーパーソンになる。行政通訳として外国人住民を支援しているのでノウハウを持っている。その評価がとても参考になる。

（地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より）

アンケート調査



日本語が分からないなどの理由から、地方公共団体の窓口などに来庁しない外国人住民もいるため、デスクリサーチやヒアリング調査を補完するための有効な手段になります。

他方、書面でのやりとりとなるため、有効な回答を得るためには、設問構成や実施方法を工夫する必要があります。

地方公共団体の参考事例

A市



● アンケート票をシンプルにした

アンケート票に回答する現場の負担にならないよう設問を6～7項目程度に絞ってシンプルで答えやすい様式とした。

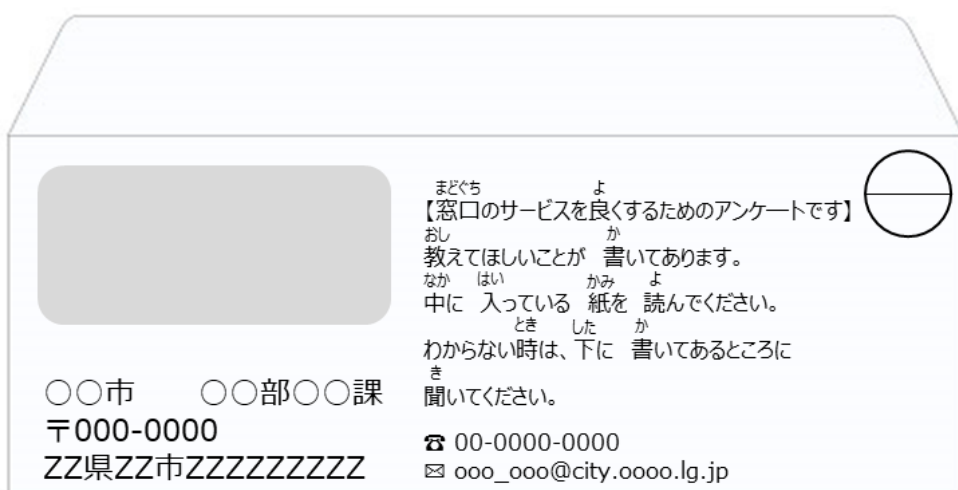
B市



● 外国人住民にも開封されやすい封筒で送付した

外国人住民は封筒に書かれた用語が理解できずに捨ててしまうことがある。多言語で封筒を用意するのは予算の都合で難しいため、「やさしい日本語」の封筒とアンケート票を用意した。

▼(サンプル)「やさしい日本語」で作成した封筒



(地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より)

各調査結果の活用(参考)

多言語音声翻訳サービスの導入を実現した地方公共団体においては、これらの調査結果をもとに、対応言語や対応にかかる時間・人数を数値化することによって、現場が抱える課題を可視化し、関係者と調整を行ったというケースが多くありました。

また、他の多言語対応などとの比較により、多言語音声翻訳サービスならではのメリットを説明されたケースもありました。

地方公共団体の参考事例

A市



● 定量的な根拠をもとに関係者と調整を行った

実証実験で使用時間・会話内容・使った言語・満足度を積み上げて数値化した。積み上げた数値と通訳者を雇用した場合のコストなどを比較して財務へ説明を行った。また、事前に翻訳機にふれたことで導入後の運用イメージがしやすかった。

(地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より)

ポイント2 現場の課題解決に有効な多言語音声翻訳サービスを選択する

各調査の結果をもとに、対応言語や必要な機能などを検討し、現場において有効な多言語音声翻訳サービスを選択します。



現場の環境や業務に即した利用形態を選ぶ

多言語音声翻訳サービスの利用形態は、「アプリ」「アプリをインストールしたタブレット端末」「専用機器」等があります。既にタブレット端末を保有している場合はアプリの利用形態が考えられるため、現場の環境に合わせて、利用形態を選択します。また、オフラインで利用できるサービスもあるため、使用する場所や環境についても事前に検討することを推奨します。



地域の実態に即した言語を選ぶ

デスクリサーチで調査した外国人住民の国籍とヒアリング・アンケートで調査した外国人住民の使用言語を照らし合わせて、必要な言語を選択します。



業務に即した機能を選ぶ

業務に即した機能の例として以下があります。

専門用語などを登録できる辞書登録機能

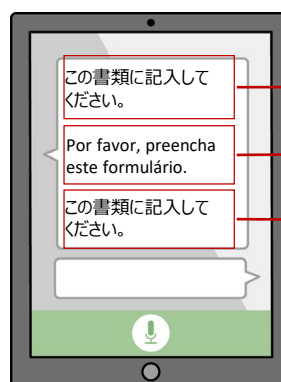
窓口では専門用語が含まれる会話が多いため、翻訳精度に不安を感じる方が少なくありません。行政の専門用語などを事前に登録できる辞書登録機能を備えたサービスなどもあります。

活用例) 「〇〇給付金」等の行政手続における専門用語について、事前に外国の方に理解してもらいやすい表現を検討し、会話の際にその内容で翻訳されるよう、事前に入力内容に対する翻訳結果を登録した(「(入力) 児童手当」→「(出力) Money that a house with children can get (子供のいる家が、もらえるお金) 等)。

翻訳結果を確認できる逆翻訳機能

逆翻訳機能とは、翻訳後の内容を再度、入力時の言語に翻訳し、表示する機能です。本機能によって話者は、自分の入力した意図の内容通りに翻訳されているかを確認できるため、思わぬ翻訳結果が伝わってしまうようなトラブルを回避できます。

活用例) 音声翻訳サービスが近くの人々の声を拾ってしまったことにより、意図しない翻訳結果が出力されてしまったが、本機能によってその原因が判明したため、改めて他者の声が入らないように留意し、内容を入力した。



音声入力した日本語

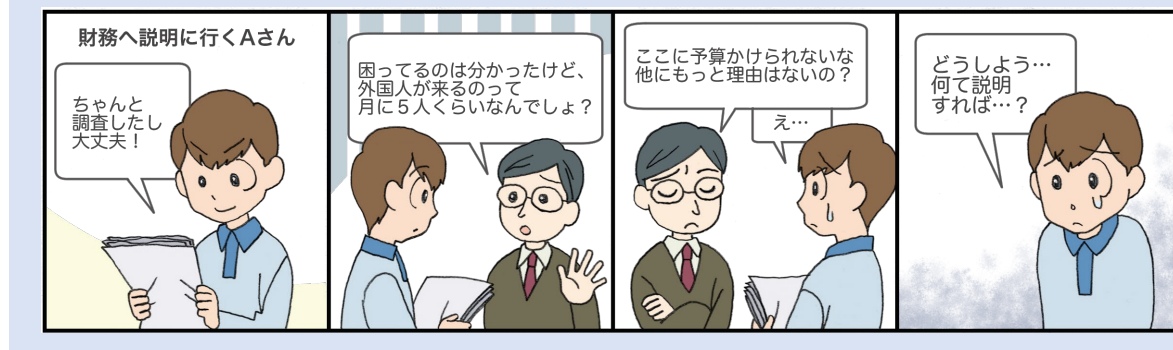
翻訳結果

翻訳結果を再度
日本語に逆翻訳

3-2.関係者に導入の必要性を理解してもらうために（コラム）

多言語音声翻訳サービスの導入は、日本人の住民と比較するとまだまだ少数である外国人住民に限定した予算措置となるため、費用対効果の観点だけでは、周囲の合意を得ることが難しいとの声がありました。そのため、本コラムでは、予算措置に向けた費用対効果の観点に加え、定性的な効果なども交えつつ周囲との合意形成を図ることで、多言語音声翻訳サービスの導入を実現した地方公共団体の事例を紹介します。

< 現場における苦勞 ～定量的な説明だけでは関係者の合意を得るのが難しい～ >



定性的な効果などにおける説明のポイント（費用対効果以外の観点）

定量的な費用対効果だけでなく、多言語音声翻訳サービスの導入は、総合計画やSDGsで掲げる「人や国の不平等をなくす」「住み続けられるまちづくりの実現」など、国や地方公共団体のビジョンにつながる取り組みであることを説明し、関係者との合意形成を図ったことが成功要因となったケースが多くありました。

●定性的な効果などを説明する項目例

項目	具体例
防災対策	平時を想定した利用としては過剰なサービスであっても、災害時の場合は誰一人取り残さないようにメッセージを伝える必要があることを説明
市民サービスの向上	外国人比率が少なくても、外国人住民も日本人と同様のサービスを受ける権利があることを説明
行政のデジタル化	国を挙げて住民の利便性向上と行政の効率化を図る使命があることを説明
外国人との共生社会	「人や国の不平等をなくす」「住み続けられるまちづくりの実現」などのビジョンと合わせて説明

地方公共団体の参考事例

A市



●市民サービス向上の視点を加えた

数値化して効果を説明するのは難しい。例えば、まったくコミュニケーションが取れず帰宅してもらえない場合、対応時間を数値にするとゼロに近いものになってしまう。外国人住民の市民サービス向上につながる施策として、多言語音声翻訳サービスの必要性を説明した。

B市



●社会的責任や意義の視点を加えた

社会的に孤立している方(精神疾患など)が抱える課題を解決したかった。SDGsの理念に則り、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた施策として必要性を訴えた。

(地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より)

4-1.運用時に課題になりやすいこと

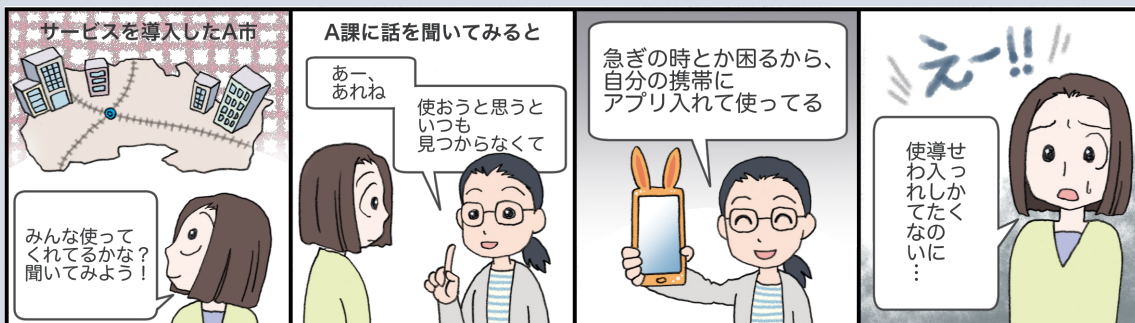
多言語音声翻訳サービスの運用時に課題としてよく挙げられるのが「導入したにも関わらず活用されていない」という点です。

よくある失敗事例

<事例1 周知が不十分で活用されていなかった>



<事例2 利用するためのルールが浸透していなかった>



次ページからサービスを活用してもらうためのポイントを紹介しています。

4-2. サービスを活用してもらうためのポイント

多言語音声翻訳サービスを活用してもらうための5つのポイントについて説明します。

ポイント1 実際に使ってもらい効果を実感してもらう



多言語音声翻訳サービスの利便性、機能性を体感してもらうことが使用頻度の向上につながります。多くの職員に興味を持ってもらうためには、定期的な啓蒙活動が有効です。

地方公共団体の参考事例

A市



● 若手職員に興味を持ってもらった

現場の使用頻度が低かったため、職員に興味を持ってもらうように説明会を行った。各課を回って興味のある若手職員に使用を促した結果、皆が使ってくれるようになった。

(地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より)

ポイント2 多くの人が使いやすい環境を整える

多言語音声翻訳サービスは多くの人がふれるものなので、いつでも手軽に使えるルールを取り決めておくことが有効です。

端末の置き場所を決めておく

使いたいときに探さなくても済むように、すぐに取り出せる場所を置き場所にしておきます。

端末を充電しておく

使いたいときに充電切れで使えないという事態を避けるため、利用ルールを取り決めておきます。

端末を紛失しないように管理する

紛失する恐れがあるので、帰宅時は保管袋やキャビネットを用意して収納するなど工夫します。

業務で許可されているものを利用する

トラブル発生時の責任の所在が不明確になる恐れがあるので、業務での使用が許可されていないスマートフォンやサービスの使用は推奨しません。

地方公共団体の参考事例

A市



●定期的に安全面の注意喚起を行った

勝手に端末の設定を変えたり、アプリの無断インストールをしないように定期的な庁内周知を行った。

(地方公共団体における多言語音声翻訳サービス導入のガイドライン類策定の調査事業検討会より)

ポイント3 翻訳精度を向上させる工夫をする

通常使用している話し言葉で翻訳すると正しく翻訳されない場合があります。言い方を少し簡単に、やさしくすることで翻訳精度の向上につながります。



「やさしい日本語」を活用する

「やさしい日本語」とは、日本語を母語としない人に分かるように、語彙や文法などを調整して話したり書いたりする日本語です。多言語音声翻訳サービスにおいても、「やさしい日本語」を取り入れることで翻訳精度の向上が期待できます。

「やさしい日本語」のコツとして「はさみの法則（※）」があります。

はっきり言う

あいまいな表現を避ける

通常の日本語：できるだけ早く持ってきてください。

やさしい日本語：**3月31日の午後4時まで**に持ってきてください。

さいごまで言う

最後まで言い切る

通常の日本語：本日、運転免許証は？・・・

やさしい日本語：今日は、運転免許証**を持っていますか？**

みじかく言う

一文を短くする

通常の日本語：夕方や土曜日は多くの方が申請を行うため、受付が混み合い待ち時間が長くなります。

やさしい日本語：**午後1時から5時までと土曜日はたくさん人が来ます。待つ時間が長いです。**

(※) 出典：『入門・やさしい日本語』（アスク出版）

ポイント4 コミュニケーション補完ツールを使う

多言語音声翻訳サービスを使う際に、相手が使用する言語を確認するための国旗の一覧表や、説明したい内容に関する地図や写真等を補完ツールとして用いると、よりスムーズにコミュニケーションを取ることができます。

ポイント5 地域住民(外国人住民)へ周知する

多言語音声翻訳サービスを使ってもらうために、導入したことを地域住民(外国人住民)に周知することが有効です。外国人住民に知ってもらうことで日本語ができる知人や友人が同行できない場合でも、安心して来庁できるようになります。



庁舎内の掲示板やSNSを使って周知する

庁内の掲示板やチラシの郵送、公式SNSやWEBサイトなどを使って周知します。

最後に

地方公共団体における「多言語音声翻訳サービス」の導入ガイドをお読みいただきありがとうございました。

本ガイドは地方公共団体の職員や在留外国人の皆様にはアリングを行うとともに、有識者やサービスを提供する民間事業者の方々からもご意見をいただき、多言語音声翻訳サービスを導入する上での知見やポイントをまとめさせていただきました。

改めまして、本ガイドの作成にご協力いただいた皆様へ感謝を申し上げます。

本ガイドが、地方公共団体の皆様における多言語音声翻訳サービス導入の後押しになりますと幸いです。